

基本理念

きずな

生きる力を育て絆を深める埼玉教育

埼玉県教育振興基本計画を策定しました。

平成22年度

要 覧

社会科学と産業の 埼玉県立浦和図書館

歴史と哲学の 埼玉県立熊谷図書館

科学と芸術の 埼玉県立久喜図書館

目 次

埼玉の県立図書館	1
埼玉県立図書館運営の基本方針	2
平成22年度埼玉県立図書館運営の重点目標及びサービス評価指標	2
平成21年度埼玉県立図書館の重点目標の実績	3
図書館事業の概要	5
I 全体概況	5
II 各館の状況	7
1 浦和図書館	7
2 熊谷図書館	7
3 久喜図書館	8
埼玉県立図書館で利用可能なオンラインデータベース	10
埼玉県内公共図書館等横断検索システム 協力車・連絡車	11
平成22年度当初予算概要	12
図書館協議会	13
平成22年度図書館関係行事予定	14
県立図書館所蔵資料・機器	16
利用状況	18
平成21年度の利用状況	18
主な利用統計の推移（県立図書館計）	20
市町村立図書館等支援のための事業実施状況（平成21年度）	21
組織・機構	24
職員構成	25
条例・管理規則	26
埼玉県立図書館のあゆみ	30
施設の概要	33
浦和図書館	33
熊谷図書館	34
久喜図書館	35
県立図書館へのアクセス	36

埼玉の県立図書館



(平成22年4月1日現在)

		所在地等	資料分担分野
埼 玉 県 立	浦和図書館	〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-1-22 電話 048-829-2821 FAX 048-829-2979	社会科学 産 業 地域・行政資料
	熊谷図書館	〒360-0014 熊谷市箱田5-6-1 電話 048-523-6291 FAX 048-523-6468	総 記 哲 学 歴 史 海外資料
	久喜図書館	〒346-8506 久喜市下早見85-5 電話 0480-21-2659 FAX 0480-21-2791	自然科学 技術、芸術 言語、文学 児 童 書

埼玉県立図書館運営の基本方針

埼玉県立図書館は、県民の生涯にわたる多様な学習要求にこたえるため、相互に緊密な連携を保ちながら一体的な運営を図り、地域図書館網の拠点として、図書館資料、調査相談等の充実に努める。

また、県内市町村立図書館等との連携のもとに、効果的な図書館活動の展開に努め、県民文化の向上に寄与する。

このため、埼玉県立図書館は、図書館協議会の建議「埼玉県立図書館の振興方策について」を受け、次の事項を推進する。

- 1 高度で専門的な資料を収集・蓄積し、県民の調査研究に対する支援機能を充実する。
- 2 情報通信技術の進展に対応した図書館サービスの提供を図るため、電子図書館化を推進する。
- 3 県内市町村立図書館等との連携を進め、図書館ネットワークの中核施設としての機能を充実する。
- 4 県民の自主的・自発的な活動を支援し、県民が求める学習機会の提供に努める。

平成22年度 埼玉県立図書館運営の重点目標及びサービス評価指標

	重点目標	取り組み	サービス評価指標※	達成目標値
1	分野別専門館体制の強化	①県民の専門的な調査研究活動を支援するため、3館一体のレファレンスサービスを推進する。 ②各館分担分野の参考図書、専門図書、外国語資料等を充実する。	レファレンス件数	17,000件
			年間図書受入冊数	18,700冊
2	電子図書館化の推進	①県民の課題解決を支援するため、インターネットによる情報発信やデータベース等の活用を積極的に行う。 ②「地域共同リポジトリ」への参加など、埼玉に関する電子情報の収集・保存・提供の取り組みを進める。	ウェブサイトアクセス件数	700,000件
			レファレンス情報作成・提供件数	5,500件
3	利用者の立場に立った図書館サービスの推進	①情報の探しかた講座など各種事業を開催することにより、県民の情報リテラシー向上を支援し、多様な学習機会を県民に提供する。 ②バリアフリーな利用環境の整備に努めるとともに、視覚障害者等への資料提供を拡充する。 ③ビジネス支援や健康・医療情報および、多文化サービスなど、県民生活に役立つ資料コーナーの運営に努める。	事業開催回数及び参加者数	390回 12,850人
			障害者サービス資料利用数	27,000件
			来館者数	588,000人
4	県内公立図書館等との連携の強化	①相互貸借制度についての広報を積極的に行い、県内市町村立図書館等への協力貸出を推進する。 ②協力レファレンスの充実や研修事業の展開を通じて、市町村立図書館を支援する。 ③県民が利用できる資料を拡充するため、県内の市町村立図書館や大学図書館、高校図書館等との連携を強化する。	協力貸出点数	54,100点
			研修事業開催回数及び参加者数	30回 1,300人
			県内公立図書館等への図書館資料搬送点数	720,000点
5	県民の期待にこたえられる図書館運営の推進	①利用者アンケートや広聴活動を通じて県民ニーズを把握するとともに、各種媒体を活用して広報活動を積極的に推進する。 ②県民の持つ多様な知識や技術を県立図書館の活動に生かせるよう、ボランティアの導入を推進する。 ③関係機関やボランティア等と連携し、県内市町村の子どもの読書活動を支援する。	利用者満足度	(略)
			ボランティア活動状況	310回 680人

※「サービス評価指標」・「達成目標値」の詳細については埼玉県立図書館ウェブサイト(https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/kikaku/shihyo/shihyo_index.html)にて公開しています。

平成21年度 埼玉県立図書館の重点目標の実績

[共通の目標]

1 分野別専門館体制の強化を図る。

- (1) 各館の分担分野の参考図書・専門図書の充実に努めるとともに、電子媒体資料の積極的収集を行う。
 - 浦和 7, 879冊、熊谷 6, 478冊、久喜 8, 804冊、合計 23, 161冊の図書を収集した。
- (2) 県民の専門的な調査研究活動を支援するため、3館が一体となってレファレンスサービスの向上に努める。
 - 県民等からの質問・相談にこたえるレファレンスは、事項調査及び所蔵調査合わせて40, 443件実施した。テーマ別の調べ案内(9種)を3館で作成・配布するとともにウェブサイトで公開した。

2 電子図書館化の推進に努める。

- (1) 県民の課題解決を支援するため、インターネット上の県政情報の収集・保存・提供に取り組む。
 - 平成18年3月に公開した「埼玉県内公共図書館等横断検索システム」の参加館数は平成22年5月現在で、県立図書館、57市町立図書館、2大学図書館、その他6機関となっている。この横断検索システムのトップページへのアクセス数は、607, 536件に達した。
- (2) 県立図書館ウェブサイトのコンテンツを充実させるとともに、電子メール等を活用して図書館情報の提供を推進する。
 - 県立図書館ウェブサイトイベント案内や資料案内など258回の追加更新を行った。平成20年3月から開始した携帯電話からの予約数は1, 659点であった。
 - 国立国会図書館レファレンス協同データベース事業に参画し、3館で実施したレファレンス事例のうち1, 080件を公開した。(埼玉県立図書館の総公開件数は5, 030件で参加館中全国1位)

3 利用者の立場に立った図書館サービスを推進する。

- (1) バリアフリーな利用環境の整備に努めるとともに、視覚障害者への対面朗読サービスを積極的に推進する。
 - 浦和館では階段手すり等に点字及び墨字の案内表示を行い、視覚障害者の利用環境の整備に努めた。久喜館では館内の案内表示を改善し、また閲覧室内に資料持ち運び用のカゴを常備した。3館合わせた対面朗読時間は663時間であった。
- (2) 図書館情報活用講習会やオンラインデータベース講習会の開催などを通じて、県民の情報リテラシー向上を支援する。
 - 「やって納得!情報の探しかた講座」を3館で計23回開催し、合わせて124名の参加があった。
- (3) 資料展示や各種講演会などを開催することにより、多様な学習機会の提供に努める。
 - 3館の分担分野を生かした資料展示や地域や県機関と連携した展示会・講演会等を3館で計31回実施し、5, 923名の参加があった。
- (4) 図書館コンピュータシステムの適切な管理に努めるとともに、個人情報の保護に万全を期す。
 - システム管理会社との定例会を継続的に開催し、図書館システムの適切な運用管理に努めるとともに、全職員を対象にセキュリティの研修を実施した。

4 県内公立図書館等との連携の強化に努める。

- (1) 県内市町村立図書館等への協力貸出を推進するとともに、物流システムやネットワークの充実に努める。
 - 連絡車・協力車により、約88万冊の図書資料を搬送した。
- (2) 協力レファレンスの充実や研修事業の展開を通じて、市町村立図書館支援に努める。
 - 埼玉県図書館協会公共図書館部会の5つの専門委員会を中心に、延べ45回の研修事業を行った。
- (3) 埼玉大学図書館及び埼玉県立大学情報センターとの相互協力の推進に努めるとともに、他の県内大学図書館、高校図書館及び県内外図書館関係団体等との連携・協力を図る。
 - 県立図書館から両大学に合わせて222冊を貸し出し、両大学から合わせて210冊を借り受けた。また、高校図書館側と連携・協力の可能性についての話し合いを行った。

5 県民の期待にこたえられる図書館運営に努める。

- (1) 利用者アンケートや広聴活動を通じて県民ニーズの把握に努めるとともに、広報活動を積極的に推進する。
 - 平成22年2月に来館者を対象とした「お客様アンケート」を実施し、館内及びウェブサイト上で結果を公表した。「さいたまけんりつ図書館だより」を年2回発行するほか、館内広報紙の配布やウェブサイトの充実に努めた。
- (2) 「図書館サービス評価指標」を設定し、達成状況の評価及び公表を通じて、図書館運営の改善に努める。
 - 重点指標及び基礎指標について、平成20年度達成状況と平成21年度数値目標をウェブサイト上に公表した。
- (3) 図書館活動についての県民の理解を深めるため、県内各図書館等と協力して「図書館と県民のつどい埼玉2009」を開催するとともに、第21回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア埼玉2009」に参加する。
 - 「図書館と県民のつどい埼玉2009」は、平成21年11月28日「浦和コミュニティセンター」で開催し、延べ1, 730人の参加があった。第21回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア埼玉2009」は平成21年10月30日～11月3日に「さいたまスーパーアリーナ」を会場に開催され、埼玉県読書推進運動協議会・埼玉県図書館協会と協力して、生涯学習見本市に

出展し県内公立図書館のPRを行った。延べ1,242人の来場者があった。

- (4) 県民の持つ多様な知識や技術を図書館運営に生かすため、ボランティアの導入を推進する。
- おはなし会等のボランティアを中心に3館で計130名が活動を継続している。新たに浦和館では「情報の探し方講座」の講師補助ボランティアを、熊谷館では「翻訳ボランティア」を募集し、それぞれ2名、3名が活動を開始した。

[各館別の目標]

1 浦和図書館

- (1) 専門的な調査研究活動にこたえるため、蔵書データベースの精度の向上を図る。
- 約7,000件のデータ修正を行うことにより、データベースの精度向上に努めた。
- (2) ビジネスに関する最新の資料やオンラインデータベースを提供し、初期的なビジネス支援サービスに努める。
- オンラインデータベースのミニ講習会「データベースちょっと使ってみま専科」を実施した。(21回、延べ38人参加)
新たに埼玉県創業・ベンチャー支援センターと共催で「講座 起業の一步～はじめてみませんか」を開催し30人の参加者があった。
- (3) 埼玉に関する資料の充実を図るとともに、行政職員向けにウェブサイトを利用した情報発信を行い行政支援サービスの推進に努める。
- 広報紙や各自治体の情報を基に、埼玉に関する資料を幅広く収集した。また、レファレンスサービスに活用するため、新たに約2,900件の埼玉関係記事をデータ化したほか、職員向けのメールマガジンを年間6回発信し、行政支援サービスの広報に努めた。

2 熊谷図書館

- (1) 県内図書館物流システムの円滑で効率的な運営に努めるとともに、図書館未整備町村に対し資料支援と運営相談を行う。
- 図書館協力担当者会を2回開催するとともに、図書館協力調査、運営相談を実施して、物流ネットワークシステムの一層の充実を図った。また、図書館未整備の4町村の公民館等を配本所に指定し、10,078冊の資料を配本した。
- (2) 県内公共図書館との海外資料サービスのネットワーク化を図るとともに、関連機関と連携しながら多文化サービスの充実に努める。
- 中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、英語及びスペイン語等の外国語図書483冊を収集・整備した。また、従来対応していなかった中国語の簡体字・繁体字、ハングルでも検索できるよう所蔵データの再整備を開始し、韓国・朝鮮語図書については作業を終了した。さらに、海外資料普及関連事業として「メキシコ州ー埼玉県交流写真展」(県国際課と共催)「外国語資料研修会」等を開催した。
- (3) 県内市町村立図書館等が所蔵する視聴覚資料を踏まえた効率的な収集に努め、県下全域に対する視聴覚サービスを行う。
- 1,527点の録音資料と212点の映像資料を収集し、所蔵データの整備を行い県立各館に配置した。

3 久喜図書館

- (1) 録音資料のデジタル化を進めるとともに、市町村立図書館等の視覚障害者サービスを支援する。
- 162タイトルの録音資料をデジタイズし、購入・寄贈を含めデジタイズ資料の所蔵数は871タイトルになった。
デジタイズ資料の利用数(協力貸出含む)は12,556タイトルであった。
また、県内市町村立図書館の視覚障害者用資料の到着情報を2回発行した。
- (2) 地域で活動する子ども読書ボランティアの資質向上を図り、県内市町村の子ども読書活動を支援する。
- 子ども読書支援ボランティア(11名)の協力を得て、子ども読書に関する情報の収集・加工を行い、県立図書館のウェブサイトや情報誌「Shien」へ掲載した。(ウェブサイトのデータ更新11回、「Shien」刊行2回)
「読み聞かせボランティア・ステップアップ講座」を2回(参加者計51人)実施した。
また、子ども読書支援センターへ寄せられた相談件数は年間235件であった。
- (3) 健康や医療に関する資料や情報の収集に努め、利用者の立場に立った医療情報サービスの推進を図る。
- 利用者が気軽にカウンター職員に声をかけられるよう、案内・相談カウンターの近くに健康や医療に関する資料群を集めて「健康・医療情報コーナー」を設置した。
非来館者へ情報発信するため、県立図書館ウェブサイト「健康・医療情報サービス」のページを設置した。
医療関係の雑誌を6誌新規購入するとともに、信頼性が高くわかりやすい資料の収集・提供に努めた。
健康・医療をテーマとする資料展示を実施し、講演会「やさしく学ぶ健康情報見分け術」(参加者58人)を開催するとともに、「展示資料リスト」や「調べ方案内」を作成・配布した。

図書館事業の概要

I 全体概況

1 県立図書館をめぐる動き

平成 20 年度、県教育委員会内に埼玉県立図書館ライフチャンスライブラリー化基本計画策定委員会が設置され、「県民の課題をチャンスに変える、県民に開かれた情報拠点」をキーワードに県立図書館改革についての検討が行われた。平成 21 年 2 月に出された同委員会の提言を踏まえ、県立図書館ではサービス向上のための取組 20 項目を設定し、検討・実施に努めている。

平成 21 年 4 月 1 日には、埼玉県内市町村立図書館と埼玉大学図書館・埼玉県立大学情報センターとの相互貸借に関する協定が発効した。これにより、埼玉大学図書館、埼玉県立大学情報センターの蔵書合わせて約 90 万冊の利用が、県立図書館はもとより市町村立図書館からも可能になり、より一層県民の資料要求に対応できるようになった。

6 月 25、26 日に関東地区公共図書館協議会総会及び研究発表大会（主管：埼玉県立熊谷図書館）が熊谷市立文化センター文化会館（熊谷市立熊谷図書館併設）を会場に行われた。「公共図書館をどう経営するか」をテーマに、基調報告、研究発表、シンポジウムが行われ、活発な意見交換がなされた。

10 月 30 日～11 月 3 日の間、さいたまスーパーアリーナ（さいたま新都心）で「まなびピア埼玉 2009（第 21 回全国生涯学習フェスティバル）」が開催された。埼玉県立図書館では、埼玉県図書館協会及び埼玉県読書推進運動協議会と共催でブース出展し、県立図書館で利用できるデータベース実演を初め、県内公立図書館の利用案内の配布や DVD 映像等で PR 活動を行った。

11 月 28 日（土）には、埼玉県図書館協会と共催で「図書館と県民のつどい埼玉 2009」を浦和コミュニティセンターで開催した。記念講演、分科会、資料展示等を行い、延べ 1,730 人の参加があった。

埼玉大学が電子的資料を収集・保管し、情報発信するために機関リポジトリとして発足した SUCRA は、2008 年 11 月から、埼玉県地域共同リ

ポジトリとして機能しており、埼玉県立図書館も参加館としてのコンテンツの登録を準備中である。

2 資料の分担分野と機能

埼玉県立図書館は、「県立社会教育施設再編整備計画」（平成 14 年 10 月策定）に基づき、平成 15 年度から、浦和・熊谷・久喜の 3 館が一体となった分野別専門館として運営しており、約 144 万冊の蔵書がある。

浦和図書館は、「社会科学と産業」の図書館として、社会科学・産業分野及び地域・行政資料を担当している。

また、資料管理担当として、県立図書館全体の図書の発注から受入・整理を担当している。

熊谷図書館は、「歴史と哲学」の図書館として人文科学分野（総記、哲学、歴史）の資料を担当するとともに、海外（外国語）資料サービス及び視聴覚資料の中心館である。

また、平成 19 年度から、県内図書館等との相互協力の統括館と位置づけ、物流ネットワークに係る業務を熊谷図書館に集中し、県内図書館等への支援・協力活動を推進している。

久喜図書館は、「科学と芸術」の図書館として、自然科学、技術、芸術、言語、文学分野を担当するとともに、及び児童サービス、子ども読書支援及び視覚障害者サービスの中心館として県民の生涯学習のニーズにこたえられるよう、広域的で多様な活動を展開している。

3 県立図書館コンピュータシステム

平成 15 年 3 月から本格的な図書館業務システムを導入し、平成 20 年 3 月からは電子メールによる各種の連絡、携帯電話向けサイトの設置などウェブサービス機能を強化し、利用者の利便性を図った図書館業務システムに更新した。

システム更新後は、携帯電話から資料の検索や予約のほか、本人の貸出状況や予約状況の確認も可能になり、各種の連絡を電子メールで受け取ることも選択できるようになった。

平成 21 年度に個人利用者が自らパソコン等

を操作して申し込んだ予約件数は、インターネットから 53,035 件、館内 OPAC から 7,163 件、携帯電話から 1,659 件の計 61,857 件となり、予約受付件数全体の 6 割を超えている。

平成 18 年 3 月から運用を開始した「埼玉県内公共図書館等横断検索システム」は、県立図書館のほか県内 57 市町立図書館、2 大学図書館、6 機関（平成 22 年 5 月現在）の資料所蔵状況が一度に検索できるシステムであり、平成 21 年度の横断検索システムへのアクセス件数は約 60 万件であった。

4 利用者サービス

(1) レファレンスサービス

レファレンスサービスは、県立図書館サービスの大きな柱である。従来からの活字資料（各種図書資料、新聞・雑誌等）に加え、CD-ROM・インターネット・オンラインデータベース等の電子情報も活用し、来館者はもとより、電話や FAX による個人からの調査依頼、また他の図書館からの相談にも応じている。

平成 15 年度からは、電子メールを利用した調査依頼にも対応可能となり、より一層利便性の向上が図られた。さらに、所蔵資料等の情報提供についても、県立図書館コンピュータシステムの導入、利用者用蔵書検索パソコンの増設、インターネット上での所蔵情報公開などの環境も整備し、利用者サービスの大幅な改善に努めている。また、県民の情報活用能力の向上を図るため、共通事業として「やって納得！情報の探しかた講座」を 3 館で合計 23 回開催し 124 人の参加があった。

これらにより、担当分野に関する専門性の高いサービスの提供を目指し、各館が協力して「レファレンス事例集」「調べ案内」「埼玉の類縁機関案内」等各種ツールの作成を継続して行っている。

(2) インターネット利用サービス

図書館でインターネットを利用したいとの要望にこたえるため、利用者自身が操作可能なパソコンを備え（浦和 6 台、熊谷 4 台、久喜 4 台）インターネット利用サービスを提供している。

5 図書館サービス評価指標

埼玉県立図書館は効率的で質の高い利用者サービスを推進していくため、平成 18 年度からサービス評価指標を定めて、達成状況を広く県民の皆様に公表している。県立図書館ウェブサイト等での公表に先立ち、埼玉県図書館協議会から選出された委員 4 名で構成される「サービス評価小委員会」の評価を受けている。

6 広聴、広報

3 館共通の広報紙「さいたまけんりつ図書館だより」を発行するほか、県立図書館のウェブサイトを通じて迅速・的確な情報発信を図っている。

また、「県立熊谷図書館だより」「県立久喜図書館だより」等、各館独自の広報紙や「調（しらべ）」（浦和図書館）、「LibLetter（ライブレター）」（熊谷図書館）、「調べ案内 Milestone」（久喜図書館）のパスファインダー（調べ案内）を発行している。

平成 21 年度は県政出前講座を実施するなど（3 か所、83 人参加）県民の期待にこたえられる広報活動の推進に努めた。

また、広聴に関しては、「みんなの声」（浦和）「利用者の声」（熊谷）「声のポスト」（久喜）を設置して県民の要望・意見を聴取するとともに、迅速な回答に努めている。

7 埼玉県図書館協会・読書推進運動協議会

埼玉県図書館協会の事務局として、市町村立図書館、県内大学図書館や高校図書館との連携を図り、館種を超えた本県図書館サービスの振興に努めている。

また、研修企画、参考調査及び郷土資料（浦和）、図書館ネットワーク（熊谷）、児童奉仕及び障害奉仕（久喜）の各専門委員会の事務局として、市町村立図書館職員の専門委員と連携して研修会を運営している。

なお、熊谷図書館は、平成 20 年度から埼玉県読書推進運動協議会の事務局となり、全国組織との連絡調整や県内の活動調査等の窓口となっている。

Ⅱ 各館の状況

1 浦和図書館

「社会科学と産業」の図書館として、社会科学・産業分野及び地域・行政資料を担当している。

平成21年度は地域行政資料を含め7,755冊の図書を新規に受け入れし、平成22年度当初の蔵書数は約47万3千冊となった。一般・児童・地域・行政資料合わせて約11万冊の図書を開架している。

(1) ビジネス支援サービス

ビジネス情報を求める県民はもとより、創業・起業を目指している県民に対し、ビジネス支援コーナーを設置している。

同コーナーでは、各機関が発行する創業・起業に関する講座や相談会等の情報を収集するほか、オンラインデータベース(9種)、利用端末5台を設置し、利用者には多様な情報を迅速に提供している。

また、平成20年度からオンラインデータベースのミニ講習会「データベースちょっと使ってみま専科」を実施している(21回、延べ38人参加)。

さらに平成21年度には埼玉県創業・ベンチャー支援センターと共催で講座「起業の一步～はじめてみませんか～」を開催した(30人参加)。

(2) 地域・行政資料サービス

埼玉県立図書館の中でも最も歴史があり、地域・行政関係資料の豊富な蓄積がある。これらの蓄積を背景に、県民への資料提供を行うとともに、県職員をはじめとする自治体職員の政策立案を支援するコーナーを設置して、資料の整備と広報に努めている。

また、「埼玉新聞記事見出し索引データ」「埼玉関係雑誌記事索引データ」「埼玉関係人物文献索引データ」を作成し、レファレンス等に活用している。さらに、電子図書館化の推進を図るため、江戸期から大正期の絵図10タイトル、明治期から大正期の雑誌4タイトル、明治期から昭和期の図書96タイトル等を、新たにデジタル画像化し県立図書館ウェブサイト内のデジタルライブラリーへの追加公開準備をすすめている。

(3) 資料の収集・整理

平成9年度から資料収集と書誌データ整備の業務を浦和図書館に一元化して実施してきた。平成15年度からは、分野別専門館体制の基盤を整備し、分担分野の資料の充実を図るため、資料管理担当が、より効率的な資料収集と整理に努めている。

また、図書館業務システムの導入により、資料の発注から受入・整理にいたる過程をシステム上で管理するとともに、引き続き現物選定方式を採用することで、利用者への迅速な資料提供に努めている。

(4) 集会行事・資料展示

図書館利用の促進を図るため、定期的に映画会、おはなし会等の集会行事を開催したほか、季節や行事に係るテーマや、ドラマ等で話題性のあるテーマなど年間9回の資料展を開催した。

2 熊谷図書館

「歴史と哲学」の図書館として、人文科学分野を担当している。

平成21年度は図書館振興用図書資料を含め6,468冊の図書を新規に受け入れし、平成22年度当初の蔵書数は約42万1千冊となった。一般・児童合わせて約11万冊の図書を開架している。

(1) 海外資料サービス

すべての外国語を収集対象としているが、当面は県内で外国人登録者の多い中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語に英語を加えた4言語の資料に重点を置いており、平成21年度末現在、図書9,855冊、新聞14紙、雑誌64誌を収集・所蔵している。

多文化への理解と資料の活用を図るため、平成21年度は「メキシコ州ー埼玉県交流写真展」(県国際課と共催)「二胡鑑賞会」及び県内市町村立図書館職員を対象とした「外国語資料研修会」を開催した。

今後も市町村立図書館との連携を図り、海外資料サービスのネットワーク化を推進する。

(2) 視聴覚資料サービス

視聴覚資料サービスの中心館として、視聴覚資料の収集・整理業務を一括して行い、整理済

資料を各館に配置している。また、16ミリ映画フィルムについては一元的な管理・運営を行い、団体利用の窓口を担当している。

(3) 図書館協力・振興活動

(ア) 協力業務

3館の図書館協力業務の統括館として、また埼玉県図書館協会図書館協力担当者会の事務局として、県内公立図書館等の資料相互貸借ネットワークの要となっている。

資料検索面では県内公立図書館等の蔵書データを基に作成している「埼玉版 ISBN 総合目録」の配布に加え、平成18年3月に「埼玉県内公共図書館等横断検索システム」の運用が開始され、県域における相互貸借が一層推進された。

また、平成18年度から「埼玉版 ISBN 総合目録」からの単館所蔵データの抽出、配布(CD-R版)を開始し、埼玉県内公立図書館等における資料保存体制の整備を図っている。

さらに平成20年度から、埼玉県高等学校図書館研究会が編集・管理している「埼玉県内高等学校 Web-ISBN 総合目録」に、県立図書館所蔵資料の ISBN 目録データを提供している。

このほか、県内公立図書館等のネットワークの強化を図るため、市町村立図書館等との協議・意見交換の場として「図書館協力担当者会」を年に4回開催している。

ア 連絡・協力車

連絡・協力車は、平成19年度から全て熊谷図書館発着となり、熊谷図書館が相互貸借資料、交換資料等を搬送する県内図書館物流ネットワークの中心となっている。

今年度、連絡車は県立浦和・久喜図書館を週4回、埼玉大学図書館を週3回、7市町・5機関を週1回巡回している。また、協力車は7コース設定し、57市町村・3機関・1大学を週1回巡回している。

イ 情報提供

県内公立図書館等の行事予定や連絡事項等の情報誌として「協力車だより」を年4回発行するほか、各図書館の協力業務担当者向けの「埼玉県立図書館図書館協力ウェブサイト」を随時更新し、より迅速な情報提供に努めている。

ウ 貸出文庫

同一図書を20冊程度のセットにし、読書会等

の集団読書用として、市町村立図書館等を通じ県内の読書グループや学校等に提供している。

(イ) 振興業務

ア 配本所

県内の図書館未整備町村の教育委員会や公民館図書室と協力提携し、配本所を設置している。平成21年度は、4町村を対象にのべ10,078冊を配本した。

また、配本所の担当者向けに「公民館図書室等実務担当者会」を年1回開催し、運営についての実務研修を行っている。

イ 調べ学習文庫

図書館未整備町村の小学校を対象に総合的な学習の時間に対応した「調べ学習文庫」を12分野65セット用意し提供している。

(4) 集会行事・資料展示

所蔵資料の利用促進を目的に、2階ロビーや3階資料室でテーマ別図書の展示等による資料の紹介を行うとともに、平成17年度から当館の担当分野をテーマとする「文化講座」を実施している。

また、視聴覚資料への理解と利用促進を図るため、名作映画会や子ども映画会等を定期的に開催するほか、毎月第2・3・4土曜日に「おはなし会」を行っている。

3 久喜図書館

「科学と芸術」の図書館として、自然科学・芸術・言語・文学分野を担当している。

平成21年度は児童資料を含め8,794冊の図書を新規に受け入れし、平成22年度当初の蔵書数は約52万3千冊となった。一般・児童合わせて約11万冊の図書を開架している。

(1) 健康・医療情報サービス

健康・医療について、県民が自ら調べ、学習する際に役立つよう「健康・医療情報サービス」を当館の重点サービスと位置付けて内容の充実を図っている。

平成21年度は、来館者が気軽にカウンター職員に相談できるよう、案内・相談カウンターの近くに健康や医療に関する資料を集めて「健康・医療情報コーナー」を設置した。また、オンラインデータベース「J-Dream II」の活用や、非来館者への情報発信のため県立図書館ウェブ

サイトに「健康・医療情報サービス」のページを設置するなど、サービスの充実に努めている。

（２）情報サービス

電子メールによるレファレンスの受付・処理を当館で担当している。平成 21 年度の受付処理件数は 342 件であった。

また、国立国会図書館のレファレンス協同データベース事業に参加し、5,030 件のレファレンス事例を一般公開している。

その外、「調査研究に役立つリンク集」「埼玉県暮らしに役立つリンク集」「埼玉の類縁機関案内」など、インターネット上の情報源の提供を行っている。

（３）新聞・雑誌サービス

新聞・雑誌等の逐次刊行物収集・管理の中心館として、他の 2 館と連携し、逐次刊行物データの整備を進めている。また、相互貸借の円滑化のため、「埼玉県内公共図書館等購入新聞・雑誌一覧」を毎年更新し、県内の公立図書館向けに提供している。

加えて、移管雑誌（市町村立図書館の廃棄雑誌）の受入れに努めている。平成 21 年度は 3 館合計で 292 タイトル、4,905 冊を受け入れた。

（４）視覚障害者サービス

当館は視覚障害者サービスの中心館として、視覚障害者を対象とする点字・録音資料の製作、貸出及び対面朗読サービスを行うとともに、市町村立図書館等の視覚障害者サービスを支援する活動を行っている。

障害者サービス用録音資料は、現在、アナログ資料（カセットテープ）からデジタル資料（デジジー）への移行期にあり、久喜図書館では、平成 15 年以来、録音資料のデジジー化を推進してきた。平成 22 年 3 月末現在、871 タイトルのデジジー資料を所蔵している。また、利用者向けにデジジー録音再生機操作個別講習を実施している。

県立 3 館で対面朗読を実施しており、平成 21 年度は 3 館合計で 663 時間の利用があった。

当館の点字・音声情報スペースでは音声パソコンによるインターネットの利用ができる。

また、朗読者（平成 22 年 3 月末現在 68 人）を対象に、毎年、研修会を実施している。

（５）児童サービス

児童書の網羅的収集等を通じて、資料センターとしての機能を担い、来館者や市町村立図書館等を対象に資料の貸出やレファレンスサービスを実施している。

また、児童サービスの研修を企画・実施し、県内市町村立図書館の児童サービス担当職員の資質向上を図るなど、県立図書館の児童サービスの中心館として、機能充実に努めている。

そのほか、障害を持つ子どもにも親しめる布絵本の収集・製作・提供を行っている。

（６）子ども読書支援センター

当センターでは「子ども読書支援ボランティア」（平成 21 年度 11 人）の協力を得て、子どもの読書に関する県内外の情報を収集・発信するほか、学校やボランティア団体等からの相談に応じている。

また、平成 17～19 年度に養成した「おはなしボランティア指導者」（平成 21 年度登録者 49 人）の派遣事業を実施している。対象は、学校や図書館等で活動し、絵本の読み聞かせやストーリーテリングの経験の浅いボランティア団体で、平成 21 年度は 47 団体に延べ 53 人の指導者を派遣した。

なお、おはなしボランティア指導者を対象にフォローアップ研修会を 4 回開催し、指導者としての継続的な活動を支援している。

このほか、読み聞かせの実践経験 5 年未満の個人のボランティアを対象に技術向上を図る研修会を 2 回開催し、51 人が参加した。

平成 21 年 11 月 28 日（土）には、「図書館と県民のつどい埼玉 2009」の事業の一環として、子ども読書活動交流集会を開催し、子ども読書にかかわる団体等の交流を図った。

（７）集会行事・資料展示

県立図書館が生涯学習の場であることを広く県民に理解してもらうとともに、図書館利用の促進を図るため、3 館共通事業「やって納得！情報の探しかた講座」、映画会、おはなし会等の集会行事を開催している。

また、平成 21 年度は資料展を 4 回開催し、資料展示に合わせて講演会を 2 回開催した。

埼玉県立図書館で利用可能なオンラインデータベース

日経テレコン21	浦和	印刷可：1回につき記事データ見出し100件まで本文10件まで
日本経済新聞社で発行している四紙の新聞記事を20年以上※過去にさかのぼって自由に検索できるほか、企業情報や人事情報、そして最新のニュースやマーケット関連情報が検索できます。(※日本経済新聞は1981年10月から)		
JRS経営情報	浦和	印刷可：印刷物に「サンプル」の文字を押印
中小企業経営に的を絞ったデータベースです。経営戦略、人事労務、税務、財務、法務、業界情報、経費削減の知恵などの情報を閲覧できます。		
法情報総合データベース	浦和	印刷可：本文は5件まで
冊子(加除資料、雑誌)で刊行されている『判例体系』『法律判例文献情報』のオンライン版です。明治以降現在までに判例誌に公表された全分野の判例について、キーワード、裁判年月日、裁判所、事件番号などから調べることができます。『判例体系』では判例の本文まで表示することができ、『法律判例文献情報』では雑誌、新聞に掲載された法律関係論文についても調べることができます。		
LexisNexisJP(レクシスネクシスジャパン)	浦和	印刷可
判例や現行法令の他に裁判書式や行政機関の審決裁決(2000年以降の特許庁審決など)、英文書式"Warren's Forms of Agreements"などを閲覧できます。		
官報情報検索サービス	浦和・熊谷・久喜	印刷可
昭和22年5月3日～当日発行分までの官報(政府が国民に公示する事項：詔勅・法令・叙任・辞令・予算・条約・国会などを編集して毎日発行)を日付やキーワードから検索することができ、テキストまたは原文のイメージを見ることができます。		
聞蔵Ⅱビジュアル	浦和	印刷可：1回につき見出し1000件まで 本文50件まで
朝日新聞の本紙(1985年以降)、埼玉県南部版(1989年以降)と東部版・西部版(2009年10月以降)を含む全国の地方版、「AERA」、「週刊朝日」等の記事、人物データベースが検索できます。また、1945年から1984年は、キーワード検索ができ、紙面のイメージが見られます。		
ヨミダス歴史館	浦和	印刷可
明治7(1874)年の創刊号から最新号までの読売新聞記事の検索・閲覧ができます。(埼玉版は1998年10月から収録)。この他に人物検索や英字新聞(THE DAILY YOMIURI:1989.9～)も検索できます。		
毎日NEWSパック	浦和	印刷可
1987年以降の毎日新聞東京本社発行分の検索・閲覧ができます。埼玉版は1994年1月から収録されています。この他に「週刊エコノミスト」(2001.1～)や英字新聞(Mainichi Daily News)も検索できます。		
MAGAZINEPLUS(マガジンプラス)	(代行検索：浦和・熊谷・久喜)	印刷可：1回につき20枚まで
キーワード等から探している記事・論文がどの雑誌に収録されているかを調べることのできるデータベースです。		
BOOKPLUS(ブックプラス)	(代行検索：浦和・熊谷・久喜)	印刷可：1回につき20枚まで
昭和元年(1926年)以降出版された本の検索ができます。また、昭和61年(1986年)以降の本は目次や内容からも検索できます。		
J-DreamⅡ(ジェイドリームツー)	浦和・久喜	印刷可
JST(科学技術振興機構)が作成した科学技術や医学・薬学関係の文献情報を検索することのできるデータベースです。4,700万件の記事を収録し、論文ごとに概要(抄録)を閲覧できます。		
賞の事典ファイル	(代行検索：浦和・熊谷・久喜)	印刷可：1回につき20枚まで
日本国内のさまざまな賞とその受賞者の検索ができます。		
WHOPLUS(フープラス)	浦和・熊谷・久喜	印刷可：1回につき20枚まで
歴史上の人物から現在活躍する人物まで約32万人を収録する人物文献情報「WHO」や、人物事典『人物レファレンス事典 日本/外国』『事典近代日本の先駆者』『海を越えた日本人名事典』、図書あらすじ・目次データベース「BOOKPLUS」の著者紹介データなどを横断的に検索することのできるデータベースです。		

代行検索：ご利用は代行検索(職員が利用者の方に代わって端末を操作します)のみとなります。

埼玉県内公共図書館等横断検索システム

埼玉県内の市町村立図書館等の蔵書を一度に検索することができます。

このシステムは埼玉県内の市町村・機関等の協力を得て埼玉県立図書館が管理・運営しています。
検索できる図書館は、県立図書館、57市町（58システム）、2大学、その他6機関です。

（参加数は平成22年5月11日現在）

横断検索システムウェブサイト <http://cross.lib.pref.saitama.jp>

協力車・連絡車

県立図書館では、県内の公立図書館（図書館未設置の町においては公民館図書室）を巡回する「協力車」と県立3館（浦和・熊谷・久喜）を巡回する「連絡車」を運行しています。

さらに近年は、埼玉大学図書館・県立大学情報センターや県内の図書館類縁機関（県立総合教育センター資料室・同深谷支所、県議会図書室、県民活動総合センター情報センター、さいたま文学館、県男女共同参画センター情報ライブラリー、女性教育会館女性教育情報センター、県福祉情報センター）を巡回先に加えて県内図書館の物流面のネットワークを支えています。

協力車

（平成22年4月1日現在）

火曜	1コース	長瀬町→皆野町→小鹿野町→秩父市→横瀬町→寄居町→東秩父村→熊谷市
	2コース	川島町→三芳町→志木市→和光市→富士見市→ふじみ野市→さいたま文学館→桶川市→行田市
水曜	3コース	川越市→鶴ヶ島市→狭山市→入間市→所沢市→新座市→朝霞市
	4コース	坂戸市→飯能市→日高市→毛呂山町→越生町→ときがわ町→鳩山町→東松山市→吉見町→鴻巣市
木曜	5コース	北本市→上尾市→さいたま市→戸田市→蕨市→川口市→鳩ヶ谷市→草加市→羽生市
	6コース	県立総合教育センター深谷支所→深谷市→本庄市→上里町→神川町→美里町→小川町 →国立女性教育会館→嵐山町→滑川町
金曜	7コース	越谷市→八潮市→三郷市→吉川市→松伏町→県立大学→春日部市→白岡町

連絡車

（平成22年4月1日現在）

月曜	Aコース	県立熊谷→県立久喜→埼玉大学→県議会図書室→県立浦和→県立教育センター→県立久喜 →県立熊谷
水曜	Bコース	県立熊谷→県立久喜→県立浦和→伊奈町→県民活動総合センター→蓮田市→県立久喜→久喜市 →加須市→県立熊谷
木曜	Cコース	県立熊谷→県立久喜→埼玉大学→県立浦和→宮代町→杉戸町→幸手市→県立久喜→県立熊谷
土曜	Dコース	県立熊谷→県立久喜→埼玉大学→県立浦和→県福祉情報センター→県男女共同参画センター →県立久喜→県立熊谷

平成 22 年度当初予算概要

1 図書館管理運営関係予算

(単位 千円)

事業名	館名	予算額	摘要
図書館サービス運営費	浦和図書館 (うち資料費)	44,836 (22,530)	館の維持管理・運営・広報 協議会の開催・図書館活動 図書、資料の収集・整理・保存
	熊谷図書館 (うち資料費)	37,052 (21,443)	逐次刊行物、視聴覚資料の収集・整理 雑誌等の合冊製本
	久喜図書館 (うち資料費)	40,915 (19,670)	視覚障害者への対面朗読 録音資料の製作・貸出 子どもの読書活動推進・支援
3館合計 (うち資料費)		122,803 (63,643)	
3館前年度予算額 (うち資料費)		134,459 (68,214)	
対前年度比較		△11,656	△8.7%

2 県立図書館関連事業予算

(単位 千円)

事業名	予算額	説明
県立図書館情報化 推進事業	24,968	資料検索や資料管理にIT(情報技術)を活用し、図書館の効率的な運営と県民への情報提供サービスの向上を図る。
県立図書館利用環境 整備事業	5,205	資料を適切に維持・管理するとともに、県民が各種資料・情報を快適に入手し活用できるよう、各館のサービス環境を整える。
図書館資料相互貸借 推進事業	10,451	連絡車、協力車の運行により、県内のどこにいても県立図書館等の所蔵資料を身近な図書館で利用できるようにする。
子ども読書活動・青少年 地域活動支援事業	113	事業費902千円のうち「子ども読書活動推進会議」に係る予算。「埼玉県子ども読書活動推進計画」に基づき、読書を通じて心豊かな子どもを育む。
県立図書館 ライフチャン斯拉イブラリー化事業	3,623	県立図書館を、県民のライフチャンスを拡大し課題への対応を支援する、県内の中核図書館に改革再編する。
県立図書館 収蔵資料保存・活用事業	19,415	貴重資料のデジタル化、埼玉新聞記事見出し索引データの作成及びデータ未整備図書の確認を行い資料の保存、活用の促進を図る。
県立図書館録音資料デジ タル(デイジー)化事業	15,435	視覚障害者向けの録音(テープ)資料のデジタル(デイジー)化を行い、視覚障害者の資料利用環境を整備する。
合計	79,210	

図書館協議会

委員名簿

	ふり 氏	がな 名	備 考		ふり 氏	がな 名	備 考
1	きのした 木下	みちこ 通子	県立春日部東高等学校主任司書	8	きとう 鬼頭	むねのり 宗範	真乗寺住職・元さいたま市立北浦和図書館長
2	ながお 永尾	みちこ 路子	本庄市立本泉小学校長	9	こなや 小納谷	まさあき 雅明	NHKアーカイブス館長
3	あきもと 秋本	さとし 敏	ふじみ野市立上福岡図書館長兼大井図書館長	10	のぐち 野口	たかいち 高一	埼玉県中小企業団体中央会専務理事
4	たかの 高野	つよこ 津代子	埼玉県地域婦人会連合会常任理事	11	ばんざい 坂西	ともひで 友秀	埼玉大学教授・埼玉大学図書館長
5	まつやま 松山	たえこ 妙子	埼玉県文化団体連合会文学部理事	12	きくち 菊地	しょうじ 昭次	翻訳業
6	きとう 佐藤	よしえ 淑恵	埼玉県家庭教育振興協議会事務局	13	たがみ 田上	さとる 智	経営コンサルタント業
7	おおい 大井	むつみ むつみ	東京家政大学非常勤講師				

平成 21 年度 開催状況

回数	開催年月日	開催状況
1	平成21年 7月28日	埼玉県立図書館協議会サービス評価小委員会設置要項について 県立図書館の概況について
2	平成21年10月21日	第1回埼玉県立図書館協議会サービス評価小委員会について 多文化サービスの現状と課題について
3	平成22年 2月24日	第2回埼玉県立図書館協議会サービス評価小委員会について 平成22年度当初予算案について

平成 22 年度開催予定

第1回：平成22年7月29日(木)，第2回：平成22年10月，第3回：平成23年2月

図書館協議会からの答申・建議等（平成15年以降）

平成17年 3月「埼玉県立図書館の振興方策について」建議

18年10月「県立図書館の子どもの読書活動推進に係る提言」

20年10月「市町村立図書館等との連携協力に係る提言」

平成22年度 図書館関係行事予定

月	浦和図書館	熊谷図書館	久喜図書館
4	・子ども読書の日記念資料展（～5月）	・「川沿い作品展」協賛展開催	・「おおきなおはなし会」
5	・やって納得！情報の探しかた講座	・2階資料展示（～8月）	
6	・やって納得！情報の探しかた講座	・国民読書年記念「図書館を活用する県民のつどい」 ・16ミリ映写技術講習会	
7	・夏休み子ども映画会 ・やって納得！情報の探しかた講座 ・資料展（～8月）	・夏休み子ども映画会	・資料展 ・夏休み子ども映画会
8	・夏休み子ども映画会 ・資料展（～10月）	・夏休み子ども映画会 ・2階資料展示（～11月）	・夏休み子ども映画会
9		・やって納得！情報の探しかた講座	・やって納得！情報の探しかた講座
10	・「図書館と県民のつどい埼玉2010」 ・文字・活字文化の日記念事業（資料展、映画会） ・やって納得！情報の探しかた講座	・「図書館と県民のつどい埼玉2010」 ・文化講座「石田三成の忍城攻め（仮）」 ・やって納得！情報の探しかた講座	・「図書館と県民のつどい埼玉2010」 ・手作り布絵本講座 ・図書館文化講座 ・資料展 ・やって納得！情報の探しかた講座
11	・教育の日映画会、資料展 ・県民の日映画会 ・やって納得！情報の探しかた講座	・県民の日映画会 ・やって納得！情報の探しかた講座 ・2階資料展示（～2月）	・朗読者研修会 ・読み聞かせボランティア・ステップアップ講座 ・県民の日映画会 ・やって納得！情報の探しかた講座
12	・冬休み子ども映画会 ・やって納得！情報の探しかた講座 ・資料展	・冬休み子ども映画会 ・やって納得！情報の探しかた講座	・やって納得！情報の探しかた講座
1	・資料展（～2月）	・海外資料普及関連事業 ・やって納得！情報の探しかた講座	・冬休み子ども映画会
2	・資料展（～3月）	・2階資料展示（～5月）	・おはなしボランティア指導者研修会 ・健康医療情報講演会 ・資料展
3	・春休み子ども映画会 ・ビジネス支援普及関連事業	・春休み子ども映画会	・おはなしボランティア指導者研修会 ・資料展

月例行事	・名画シアター ・木曜映画会 ・おはなし会 ・オンラインデータベースのミニ講習会 「データベースちょっと使ってみま専科」 (毎月第1・第3水曜日)	・名作映画鑑賞会 ・金曜映画会 ・子ども映画会 ・おはなし会	・名画鑑賞会 ・金曜映画会 ・親子映画会 ・郷土に親しむ映画会 ・おはなし会
------	--	---	--

月	県立3館連絡会関係	埼玉県図書館協会	その他	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・館長協議会 ・副館長連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館指標検討委員会 ・サービスグループリーダー連絡会 ・参考調査グループ連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童奉仕専門委員会 ・郷土資料専門委員会 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画委員会 ・図書館協力連絡会 ・障害者サービス担当者会 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館新任職員研修会 ・理事会 ・研修企画委員会 ・児童奉仕専門委員会 ・障害奉仕専門委員会 ・図書館ネットワーク専門委員会 		
6	<ul style="list-style-type: none"> ・館長協議会 ・副館長連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・総務グループ連絡会 ・図書館指標検討委員会 ・児童サービス担当者会 ・システム担当者会 ・人権問題に係る資料取扱検討委員会 ・資料管理担当者会 	<ul style="list-style-type: none"> ・総会 ・図書館協力担当者会 ・参考調査専門委員会 ・公共図書館職員等研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地区公共図書館協議会第1回幹事会、総会・研究発表大会（千葉県・千葉市）
7	<ul style="list-style-type: none"> ・広報委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館図書室等実務担当者会 ・児童奉仕専門委員会 ・研修企画委員会 ・参考調査専門委員会 		
8				
9	<ul style="list-style-type: none"> ・システム担当者会 ・ボランティア担当者連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ネットワーク専門委員会 ・郷土資料専門委員会 ・児童奉仕専門委員会 ・参考調査専門委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・都県立図書館館長会議（神奈川県・横浜市） 	
10		<ul style="list-style-type: none"> ・「図書館と県民のつどい埼玉2010」 ・研修企画委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・都県立図書館副館長会議（栃木県・宇都宮市） ・全国図書館大会（奈良県・奈良市） 	
11	<ul style="list-style-type: none"> ・副館長連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館指標検討委員会 ・図書館協力連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童奉仕専門委員会 ・図書館協力担当者会 ・障害奉仕専門委員会 ・参考調査専門委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国公共図書館研究集会 サービス総会・経営部門（富山県・富山市） ・全国公共図書館研究集会 児童・青少年部門（香川県・高松市）
12	<ul style="list-style-type: none"> ・館長協議会 ・副館長連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスグループリーダー連絡会 ・広報委員会 ・視覚サービス担当者会 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ネットワーク専門委員会 	
1		<ul style="list-style-type: none"> ・システム担当者会 ・図書館指標検討委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童奉仕専門委員会 ・参考調査専門委員会 ・公共図書館職員等研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館運営研究会（長野県・長野市）
2	<ul style="list-style-type: none"> ・副館長連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・総務グループ連絡会 ・研修計画委員会 ・人権問題に係る資料取扱検討委員会 ・参考調査グループ連絡会 ・図書資料保存委員会 ・図書館協力連絡会 ・児童サービス担当者会 ・資料管理担当者会 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料専門委員会 ・障害奉仕専門委員会 ・図書館ネットワーク専門委員会 ・図書館ネットワーク研修会 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・館長協議会 ・副館長連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスグループリーダー連絡会 ・障害者サービス担当者会 	<ul style="list-style-type: none"> ・常任理事会 ・研修企画委員会 ・児童奉仕専門委員会 	

県立図書館所蔵資料・機器

(平成22年3月31日現在)

区 分		浦和図書館	熊谷図書館	久喜図書館	3館合計	
図書	館内奉仕	一般図書	287,415	197,462	364,660	849,537
		郷土資料	147,794	38,843	32,618	219,255
		児童図書	37,984	41,324	125,847	205,155
		小計(冊)	473,193	277,629	523,125	1,273,947
	館外奉仕※	-	170,468	-	170,468	
合計(冊)		473,193	448,097	523,125	1,444,415	
新聞・雑誌等	新聞	購入(タイトル)	61	25	22	108
		寄贈(タイトル)	106	29	18	153
		合計(タイトル)	167	54	40	261
	雑誌	購入(タイトル)	186	149	297	632
		寄贈(タイトル)	1,658	678	403	2,739
		合計(タイトル)	1,844	827	700	3,371
	マイクロフィルム(リール)		6,322	3,432	3,458	13,212
電子媒体(点)		408	174	448	1,030	
視聴覚資料	16ミリ映画フィルム(タイトル)		-	4,456	-	4,456
	8ミリ映画フィルム(タイトル)		-	203	-	203
	ビデオテープ(タイトル)		2,648	1,327	1,792	5,767
	ビデオディスク(タイトル)		44	1,197	218	1,459
	スライドフィルム(タイトル)		-	899	-	899
	録音テープ(点)		-	2,800	-	2,800
	レコード(タイトル)		-	16,351	-	16,351
	CD(タイトル)		5,073	6,585	5,884	17,542
DVD(タイトル)		263	601	347	1,211	
障害奉仕資料	点字資料	タイトル(冊数)	3,081 (8,971)	- -	2,813 (9,814)	5,894 (18,785)
	録音資料 (テープ)	タイトル(巻数)	2 (7)	- -	3,467 (18,381)	3,469 (18,388)
	録音資料 (デージー)	タイトル(枚数)	- -	- -	871 (873)	871 (873)
	布絵本	タイトル(点数)	- -	- -	71 (267)	71 (267)

※貸出文庫24,616冊、調べ学習文庫2,624冊を含む。

区 分		浦和図書館	熊谷図書館	久喜図書館	3館合計
視 聴 覚 機 器	16ミリ映写機	5	8	7	20
	8ミリ映写機	3	2	1	6
	ビデオテープレコーダー	3	3	4	10
	ビデオディスクプレーヤー	3	7	4	14
	スライド映写機	2	4	4	10
	カセットテープレコーダー	1	2	2	5
	レコードプレーヤー	2	2	1	5
	CDプレーヤー	1	1	1	3
	DVDプレーヤー	1	1	3	5
	液晶映写機	1	1	1	3
	ビデオプロジェクター	1	0	2	3
	OHP	1	1	1	3
	テレビモニター	3	7	3	13
	スクリーン	3	8	6	17
暗幕	9	13	15	37	
障 害 奉 仕 機 器	カセットテープレコーダー	2	-	27	29
	カセットテープデッキ	1	-	63	64
	カセットプリンター	-	-	8	8
	デイジー再生機	-	-	12	12
	デイジー編集用パソコン	-	-	7	7
	デジタル録音機	-	-	21	21
	CDコピー機	-	-	3	3
	点字プリンター	-	-	3	3
	点字タイプライター	1	-	3	4
	オープンテープレコーダー	0	-	-	0
	文書朗読システム	-	-	1	1
拡大読書器	1	1	2	4	
の そ 機 の 器 他	マイクロリーダープリンター	1	-	1	2
	マイクロリーダー	1	1	-	2

平成21年度の利用状況

	浦和図書館	熊谷図書館	久喜図書館	3館合計
1 サービス活動				
開館日数	290	290	289	869
入館者数	189,597	157,498	241,306	588,401
個人登録者数(一般)	2,308	1,509	2,431	6,248
個人登録者数(児童)	-	-	-	-
登録者数(計)	2,308	1,509	2,431	6,248
ウェブサイト				
トップ画面アクセス件数				668,115
検索画面アクセス件数				877,274
県内横断検索入力画面アクセス数				607,536
2 参考調査				
(1) 受付				
所蔵調査受付冊数(個人)	7,425	4,747	10,124	22,296
所蔵調査受付冊数(県内市町村立図書館)	69	677	77	823
所蔵調査受付冊数(県内大学図書館)	0	0	7	7
所蔵調査受付冊数(その他)	226	58	135	419
所蔵調査受付冊数計	7,720	5,482	10,343	23,545
事項調査受付件数(個人)	6,062	3,656	6,357	16,075
事項調査受付件数(県内市町村立図書館)	112	74	275	461
事項調査受付件数(県内大学図書館)	3	1	3	7
事項調査受付件数(その他)	225	46	84	355
事項調査受付件数計	6,402	3,777	6,719	16,898
参考調査受付件数計	14,122	9,259	17,062	40,443
(2) 依頼				
所蔵調査依頼冊数(県内市町村立図書館)	12	2	1	15
所蔵調査依頼冊数(県内大学図書館)	1	0	0	1
所蔵調査依頼冊数(その他)	16	20	0	36
所蔵調査依頼冊数計	29	22	1	52
事項調査依頼件数(県内市町村立図書館)	10	5	2	17
事項調査依頼件数(県内大学図書館)	0	0	0	0
事項調査依頼件数(その他)	73	10	1	84
事項調査依頼件数計	83	15	3	101
参考調査依頼件数計	112	37	4	153
(3) 予約・リクエスト				
インターネット受付				54,694
館内OPAC	1,744	3,135	2,284	7,163
カウンター等受付	19,089	8,773	9,815	37,677
予約・リクエスト受付件数計				99,534
(4) 資料複写				
利用者数	10,267	3,157	4,146	17,570
利用冊数	24,460	6,203	8,597	39,260
枚数	129,416	35,847	38,274	203,537
(5) インターネット端末利用				
利用件数	21,038	12,371	11,310	44,719
3 資料利用(個人・団体)				
(1) 図書・雑誌資料				
個人利用冊数(一般)	45,418	38,438	72,632	156,488
個人利用冊数(児童)	28,296	59,890	71,577	159,763
利用冊数(計)	73,714	98,328	144,209	316,251
(2) 視聴覚資料・機器				
16ミリ映画フィルム利用点数		1,361		1,361
ビデオテープ利用点数	2,001	1,444	6,722	10,167
ビデオディスク利用点数	52	2,565	176	2,793
録音テープ利用点数	214	1,666	218	2,098
レコード利用点数	107	86	34	227
CD利用点数	24,429	22,744	31,338	78,511
DVD利用点数	1,721	5,622	4,125	11,468
その他利用点数	434	64	181	679
資料利用点数(計)	28,958	35,552	42,794	107,304
16ミリ映写機利用点数	6	27	12	45
8ミリ・スライド映写機利用点数	1	0	3	4
スクリーン利用点数	1	8	10	19
暗幕利用点数	0	3	5	8
その他視聴覚機器利用点数	8	3	0	11
機器利用点数(計)	16	41	30	87
(3) 貸出文庫利用				
タイトル数		850		850
利用冊数		7,657		7,657
(4) 調べ学習文庫利用				
タイトル数		11		11
利用冊数		659		659

	浦和図書館	熊谷図書館	久喜図書館	3館合計
(5) 配本所利用				
配本箇所数		31		31
配本冊数		10,078		10,078
(6) 布絵本利用				
布絵本利用点数			207	207
(7) 視覚障害者用資料利用				
録音テープ利用タイトル(巻)数			12,437(41,460)	12,437(41,460)
デジター利用タイトル(枚)数			12,271(12,312)	12,271(12,312)
点字資料利用タイトル(冊)数			1,647(2,059)	1,647(2,059)
4 視覚障害者奉仕活動				
利用登録者数				578
対面朗読利用者数	168	51	3	222
対面朗読利用点数	613	58	9	680
対面朗読利用時間	551	102	10	663
5 相互貸借(図書館等)				
(1) 図書・雑誌資料				
貸出(県内市町村立図書館)	8,304	12,270	26,375	46,949
貸出(県内大学図書館)	61	86	81	228
貸出(その他)	595	937	1,574	3,106
貸出計	8,960	13,293	28,030	50,283
借受(県内市町村立図書館)	1,413	1,958	1,470	4,841
借受(県内大学図書館)	120	62	28	210
借受(その他)	321	117	176	614
借受計	1,854	2,137	1,674	5,665
(2) 視聴覚資料				
貸出(県内市町村立図書館)	1,178	1,444	915	3,537
貸出(その他)	24	19	17	60
貸出計	1,202	1,463	932	3,597
借受(その他)	0	0	0	0
借受計	0	0	0	0
(3) 視覚障害者用資料(※録音資料は録音テープとデジターの合計 H20年度からタイトル数のみ集計)				
録音資料貸出タイトル(巻)(県内市町村立図書館)			65	65
録音資料貸出タイトル(巻)(その他)			512	512
録音資料貸出タイトル(巻)計			577	577
録音資料借受タイトル(巻)(県内市町村立図書館)			338	338
録音資料借受タイトル(巻)(その他)			7,188	7,188
録音資料借受タイトル(巻)計			7,526	7,526
点字資料貸出タイトル(冊)(県内市町村立図書館)			9	9
点字資料貸出タイトル(冊)(その他)			6	6
点字資料貸出タイトル(冊)計			15	15
点字資料借受タイトル(冊)(県内市町村立図書館)			6	6
点字資料借受タイトル(冊)(その他)			177	177
点字資料借受タイトル(冊)計			183	183
6 図書館間協力活動				
協力車出動日数		398		398
協力車巡回箇所数		3,379		3,379
連絡車出動日数		243		243
連絡車・協力車による資料搬送				
図書資料冊数		869,368		869,368
貸出文庫冊(タイトル)数		13,485(1,515)		13,485(1,515)
視聴覚資料点数(16ミリフィルム)		2,748		2,748
視聴覚資料点数(その他)		47,563		47,563
障害奉仕用資料点数		77		77
交換資料件数		70,373		70,373
教育センター返却資料冊数		2,349		2,349
資料搬送計		1,005,963		1,005,963
県立間回送				
(1) 図書・雑誌資料				
貸出	5,609	13,958	18,858	38,425
借受	21,645	9,277	7,503	38,425
(2) 視聴覚資料				
貸出	4,202	5,651	4,339	14,192
借受	5,293	3,822	5,077	14,192
7 集会活動及び施設利用				
(1) 主催事業				
映画等鑑賞会参加者(回)数	1,592(50)	1,188(54)	1,810(40)	4,590(144)
おはなし会参加者(回)数	614(51)	323(36)	810(75)	1,747(162)
その他主催事業参加者(回)数	4,861(53)	903(7)	501(18)	6,265(78)
(2) 施設利用				
鑑賞室利用者(件)数	100(8)	9(1)	951(14)	1,060(23)
その他施設の利用者(件)数	805(32)	1,301(181)	193(21)	2,299(234)

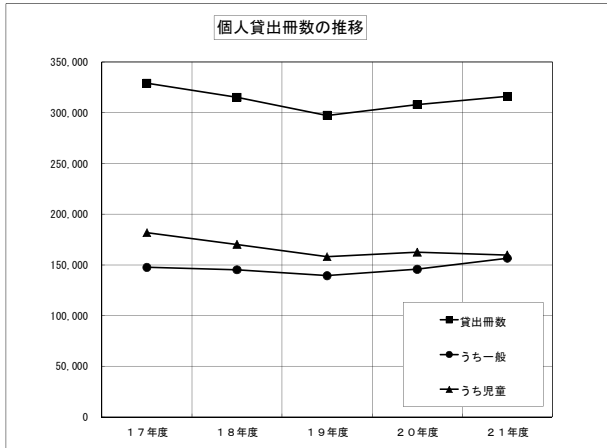
主な利用統計の推移（県立図書館計）

（平成17年度～平成21年度）

個人貸出冊数の推移

単位（冊）

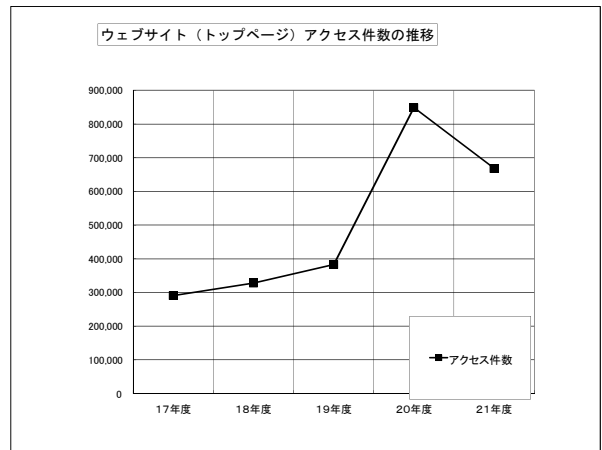
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
貸出冊数	329,213	315,255	297,407	308,068	316,251
うち一般	147,585	145,115	139,358	145,689	156,488
うち児童	181,628	170,140	158,049	162,379	159,763



ウェブサイト(トップページ)アクセス件数の推移

単位（件）

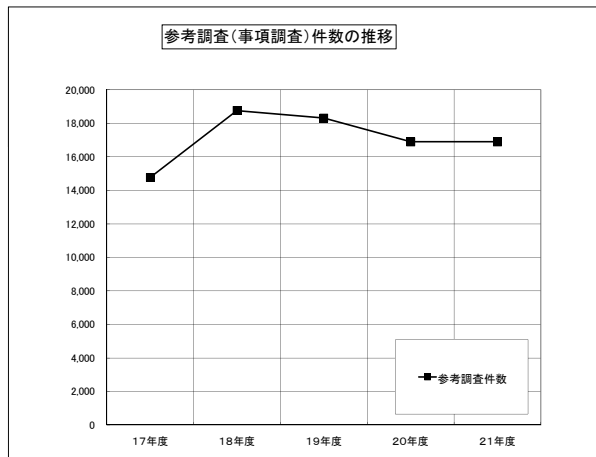
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
アクセス件数	290,759	328,379	382,951	848,351	668,115



参考調査(事項調査)件数の推移

単位（件）

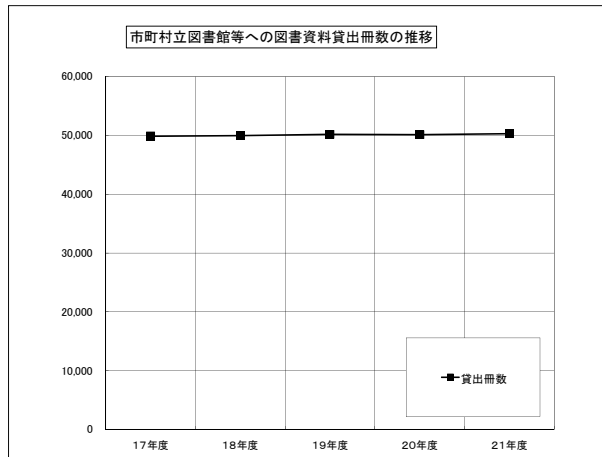
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
参考調査件数	14,765	18,762	18,315	16,898	16,898



市町村立図書館等への図書資料貸出冊数

単位（冊）

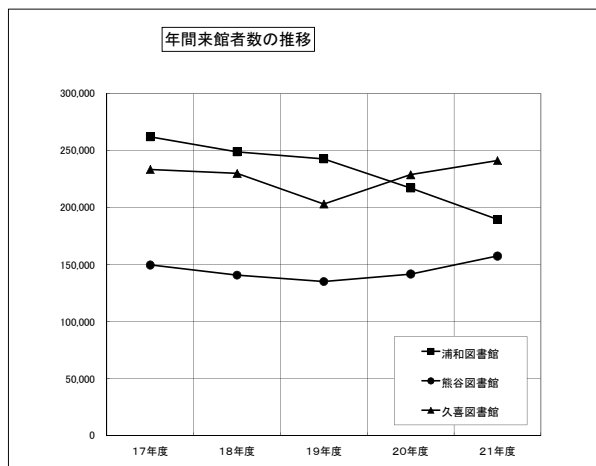
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
貸出冊数	49,859	49,944	50,172	50,115	50,283



年間来館者数の推移

単位（人）

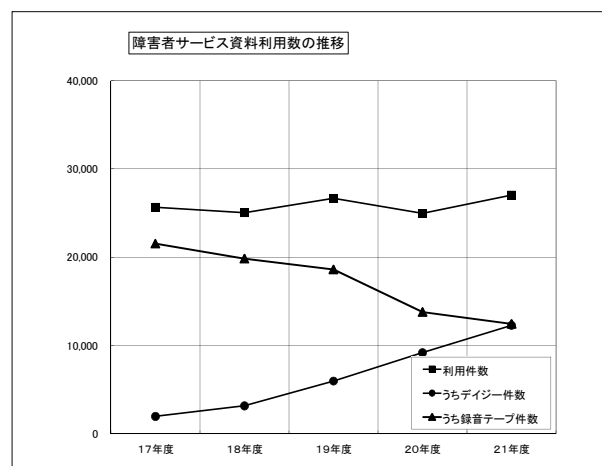
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
浦和図書館	262,007	249,009	242,822	217,278	189,597
熊谷図書館	149,660	140,776	135,151	141,723	157,498
久喜図書館	233,438	229,995	203,134	228,867	241,306



障害者サービス資料利用数の推移

単位（件）

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
利用件数	25,647	25,041	26,683	24,980	27,035
うちデジタル件数	1,964	3,157	5,968	9,178	12,271
うち録音テープ件数	21,547	19,848	18,615	13,786	12,437



市町村立図書館等支援のための事業実施状況（平成21年度）

（埼玉県図書館協会事業を含む）

調査研究支援資料等作成事業

※印は県立図書館のウェブサイトからも検索可能

資料名	概要	実施状況（配布部数）	担当館
レファレンス事例データベース ※	国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベースに埼玉県立図書館が提供したレファレンス事例のうち5,030件を一般公開	[国立国会図書館]レファレンス協同データベースにデータ登録	久喜
調査・研究に役立つリンク集	調査研究に役立つインターネット上の307サイトを紹介	県立図書館のウェブサイトに掲載	久喜
埼玉県暮らしに役立つリンク集	埼玉県の地域情報を入手する際に役立つインターネット上の109サイトを紹介	県立図書館のウェブサイトに掲載	久喜
埼玉の類縁機関案内	専門的な情報を入手することのできる県内所在の博物館、試験・研究機関、大学図書館等128機関の所在地、主な収集資料、利用条件などを紹介	県立図書館のウェブサイトに掲載	久喜
「県立図書館児童室所蔵研究雑誌記事作者・作品索引」2009年版	県立図書館が所蔵する児童書研究雑誌「子どもの本棚」など37誌の記事10,022件（平成6年～21年）の索引	図書館協力ウェブサイトに掲載	久喜
「埼玉県内公共図書館等購入新聞・雑誌一覧」	県域の資料相互貸借のためのツールとして、県内公立図書館等が購入している新聞・雑誌情報をまとめた一覧 収録データ数2,324タイトル	図書館協力ウェブサイトに掲載	久喜
「埼玉新聞記事見出し索引」	埼玉新聞の埼玉県関係記事の見出し索引 1970年4月～2004年3月の34年間分 473,726件	図書館協力ウェブサイトに掲載	浦和
埼玉関係雑誌記事索引データ（暫定版）	県立図書館が所蔵する埼玉関係雑誌65誌の記事索引（38,698件）	図書館協力ウェブサイトに掲載	浦和
埼玉関係人物文献索引データ（暫定版）	埼玉県に關係する人物について記載がある県立図書館所蔵資料の索引（5,384名 10,373件）	図書館協力ウェブサイトに掲載	浦和
「録音・点字資料目録2009年」 ※	埼玉県立図書館が平成21年中に受け入れた視覚障害者用資料目録	冊子（点字・墨字）、CD（デイジー）、テープ、フロッピーディスクを利用者、市町村立図書館等へ配布 (948)	久喜
「2009埼玉県立図書館所有16ミリ映画フィルム一覧」 ※	県立図書館所蔵の16ミリ映画フィルムのうち受入年が新しく利用頻度が高いフィルムの分類目録	市町村教育委員会・市町村立図書館・公共福祉施設へ配布 (1,800)	熊谷
「埼玉の公立図書館 平成21年度」	公立図書館の運営状況、利用統計などを調査・収録	市町村立図書館等へ配布 (745)	浦和
「貸出文庫目録・新着案内」	読書会、学級の読書の時間等で集団読書に活用するための同一図書セットの案内	市町村立図書館、読書団体等へ年2回配布 (650)	熊谷
「平成21年度図書館ネットワーク専門委員会研究報告書」	埼玉県図書館協会・図書館ネットワーク専門委員会が行った、研修会の講演記録を収録	市町村立図書館・県内大学図書館・全国都道府県立図書館等へ配布 (250)	熊谷
「埼玉県の障害者サービス実態調査2009年」	県内公立図書館における障害者サービスの実施状況、利用統計などを調査、収録	CD-R版を市町村立図書館等へ配布 (87)	久喜

図書館協力・振興事業

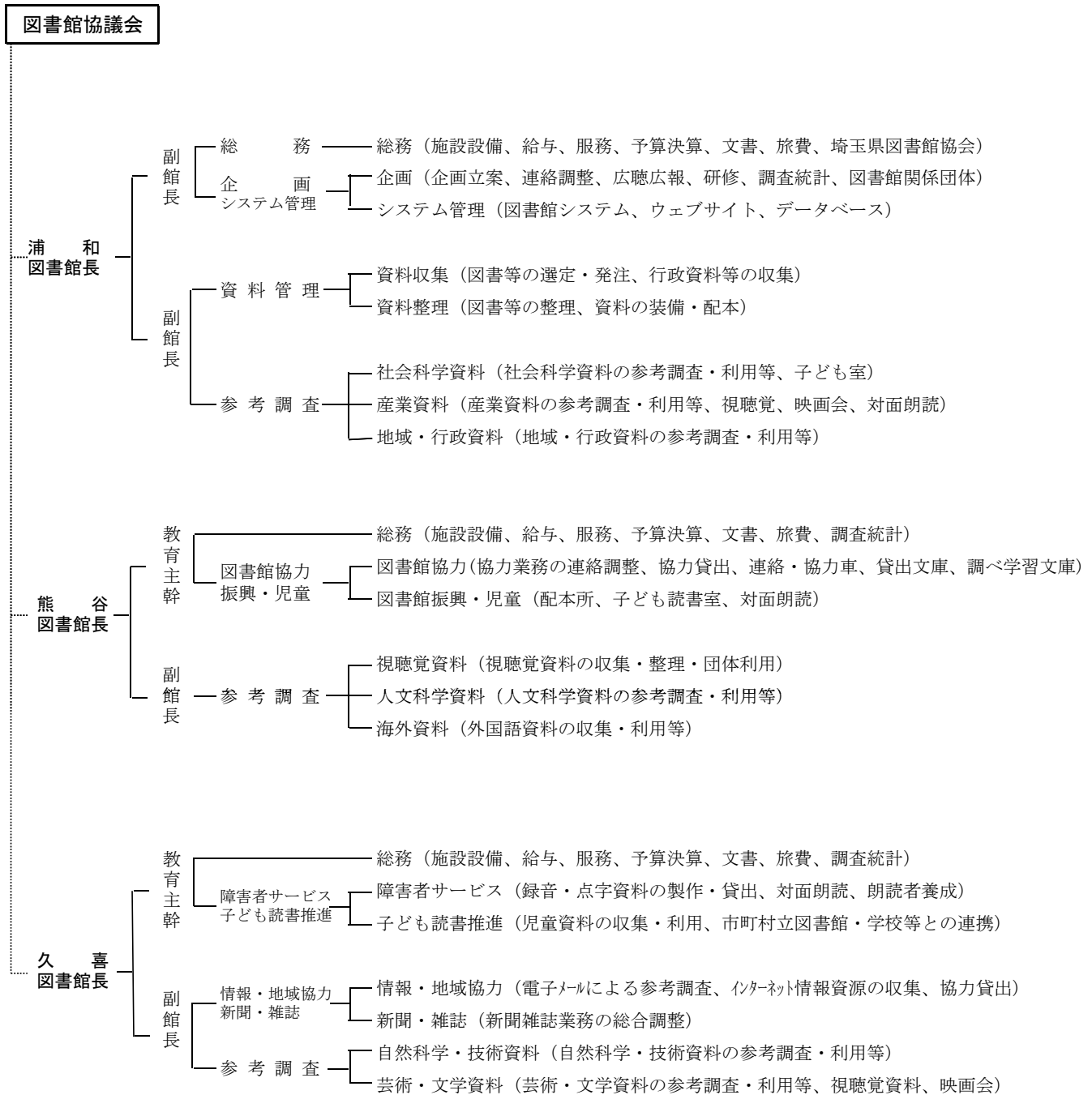
事業・資料名	概要	実施状況	主担当館
図書館間資料貸借の推進	県内公立図書館等に対する県立図書館資料の協力貸出及び公立図書館間や大学図書館との資料相互貸借活動の支援	協力貸出：53,880点	3館
連絡車・協力車の運行	県立図書館間の資料の搬送、県内公立図書館及び公民館図書室等への協力貸出のための車両の運行	連絡車（県立図書館等） ・週5日（月曜、水曜から土曜日） 協力車（県内公立図書館等） ・全8コース、各図書館に週1回	熊谷
「図書館協力ハンドブック 2009年版」	「協力貸出」「所蔵調査」「レファレンスサービス」「複写サービス」「連絡協力車」「県立図書館担当一覧」その他相互貸借に係るマニュアルを収録	図書館協力ウェブサイトに掲載	熊谷
「埼玉版ISBN総合目録」 (年4回刊行)	県内公立図書館等の図書、相互利用のために、ISBNをキーとして各館の蔵書データを抽出統合した総合目録	65市町村、2機関、県立図書館 185万2千タイトル収録 CD-R版を市町村立図書館等へ配布 (71枚/回)	熊谷
県域(公立図書館等における)での資料保存の推進	「埼玉県公共図書館等における資料保存実施要領」(平成19年1月10日施行)に基づき「埼玉版ISBN総合目録」から単館所蔵データを抽出し、そのデータを各単館所蔵館にCD-R版により配布	加入機関116(館・機関・県立) 対象冊数287,152冊	熊谷
「協力車だより」 (年4回刊行)	市町村立図書館の各種行事や休館情報、県立図書館からのお知らせ、担当者会議の概要など、協力業務に関する様々な記事を掲載した情報交流誌	市町村立図書館等(分館を含む)へ配布 (163部/回)	熊谷
図書館協力担当者会(全県対象) 第1回(6月4日) 第2回(12月4日)	・「図書館協力ハンドブック」について ・埼玉県図書館協会の研修事業について	市町村立図書館担当者等 (88人参加) (78人参加)	熊谷
配本所への支援	図書館未整備町村教育委員会等を対象に配本所を設置し、資料支援と運営相談を実施	4町村(10か所)に配本所を設置	熊谷
「配本ハンドブック 2009年版」	配本所の実務、配本に関する資料・様式等を収録	配本所を設置した教育委員会等へ配布 (10部)	熊谷
公民館図書室等実務担当者会 (7月10日)	北部地域の図書館未整備町村教育委員会職員・公民館図書室等担当者、及び初めて相互貸借業務を担当する図書館職員を対象に実務研修を実施 講師：県立熊谷図書館職員 内容：「相互貸借業務について」「配本所業務について」	(12人参加)	熊谷

研修支援事業

事業名	概要	対象（参加人数）	主担当館
「埼玉県図書館協会総会 記念講演」（6月12日）	講師：獨協大学経済学部准教授 井上靖代氏 演題：『アメリカの図書館は、いま ーアメリカの図書館事情ー』	加盟館職員・図書館協議会委員等 (68人)	浦和
「学校図書館研究大会」 (7月31日)	全体会 1. 講師：元埼玉県学校図書館協議会会長 熊本美智子氏 報告：『読書環境を作る』 2. 講師：東京学芸大学附属小金井小学校司書 中山美由紀氏 報告：『図書館利用指導』 講演会 講師：児童文学作家 斉藤 洋氏 演題：『物語の縦糸・横糸』 分科会 (A・B・C・D)	学校図書館担当者等 (146人)	浦和
「図書館と県民のつどい 埼玉2009」（11月28日）	記念講演 講師：詩人・童話作家 工藤直子氏 演題：『うたが生まれるとき』 分科会 子どもの読書関係4分科会 展示 大学図書館・高校図書館・公共図書館 製本講座『はじめての和装本』	一般県民・図書館関係者 (1,730人)	浦和
「公共図書館長等研修会」 (6月25日) (平成21年度関東地区公共図書館協議会研究発表大会)	研究発表・研究協議 研究発表『“変わるための図書館経営” 静岡市立図書館の経験から』 静岡市立御幸町図書館長 豊田高広氏 研究発表『公共図書館の活動を評価する』 横浜市立中央図書館企画運営課 桑原芳哉氏 研究協議『公共図書館運営上の諸問題について』	市町村立図書館長等 (27人)	熊谷
「公共図書館等職員研修会」 (7月9日) (1月22日)	講演会 講師：日本図書館協会映像事業部 岡田奈奈美氏 演題：『著作権問題についてー最近の動向と現場の問題を中心にー』 講演会 講師：群馬県草津町立図書館 中沢孝之氏 演題：『図書館の危機管理』	県内公共図書館等職員 (144人)	浦和
「図書館ネットワーク研修会」 (3月2日)	講師：群馬県立図書館 市村晃一郎氏、 群馬県立桐生女子高等学校 宮崎好久氏 演題：『群馬県における図書館間相互貸借ネットワークと高等学校図書館』	県内公立図書館及び高校図書館 担当者 (47人)	熊谷
「参考調査研修会」 (7月9日～3月12日)	2分科会（各年4回）及び全体研修会（年1回）	県内公立図書館・高校・大学図書館 参考調査担当者（延べ186人）	浦和
「障害奉仕研修会」 (7月3日・11月20日)	研修会（年2回）	県内公立図書館障害奉仕担当者 (延べ83人)	久喜
「郷土資料研修会」 (9月29日・11月12日・1月27日)	研修会（年3回）	県内公立図書館郷土資料担当者 (延べ69人)	浦和
「児童奉仕研修会」 (5月20日～3月3日)	4分科会及び全体研修会（年6回） *全5分科会のうち1分科会は21年度休止	県内公立図書館等児童奉仕担当者 (延べ368人)	久喜
「外国語資料研修会」 (1月14日)	テーマ：「多文化サービス」「洋書の選定」 講師：川口市立図書館職員，丸善(株)社員	県内公立図書館職員 (24人)	熊谷

組織・機構

(平成22年4月1日現在)



職 員 構 成

平成22年4月1日現在

館名	館長・副館長	職名		主席 司書主幹	司書 主幹	教育 主幹	担当 部長	担当 課長	主任 司書	司書	主任	主事	専門員	計		
		グループ名														
浦和図書館	館長 1 副館長 2 (1)	総務	男								2		1	3		
			女			1		1							2	
		企画 システム管理	男	1 (1)	2 (2)									1		4 (3)
			女		1 (1)											1 (1)
		資料管理	男		1 (1)						3 (3)					4 (4)
			女		2 (2)					2 (2)	4 (4)					8 (8)
		参考調査	男	1 (1)	1 (1)						2 (2)	1 (1)				5 (5)
			女		1 (1)						3 (3)	7 (7)				11 (11)
小計	41 (33)	男	2 (2)	4 (4)					5 (5)	1 (1)	2	1	1	19 (13)		
		女		4 (4)	1		1		5 (5)	11 (11)				22 (20)		
熊谷図書館	館長 1 副館長 1 (1)	総務	男			1	1						1		3	
			女								2				2	
		図書館協力 振興・児童	男		2 (2)						3 (3)	1		1 (1)		7 (6)
			女		1 (1)						2 (2)					3 (3)
		参考調査	男	1 (1)	3 (3)						1 (1)	1 (1)	1			7 (6)
			女								4 (4)	5 (5)				9 (9)
小計	33 (25)	男	1 (1)	5 (5)	1	1			1 (1)	4 (4)	2	1	1 (1)	19 (13)		
		女		1 (1)					4 (4)	7 (7)	2				14 (12)	
久喜図書館	館長 1 副館長 1 (1)	総務	男			1		1				2	1		5	
			女													
		障害者サービス 子ども読書推進	男		1 (1)						2 (2)			1		4 (3)
			女		2 (2)						3 (3)	2 (2)				7 (7)
		情報・地域協力 新聞・雑誌	男		2 (2)						1 (1)					3 (3)
			女								1 (1)	3 (3)				4 (4)
		参考調査	男	1 (1)	1 (1)						3 (3)					5 (5)
			女		1 (1)						1 (1)	2 (2)				4 (4)
小計	34 (27)	男	1 (1)	4 (4)	1		1		6 (6)		2	2		19 (12)		
		女		3 (3)					5 (5)	7 (7)					15 (15)	
合計	108 (85)	男	4 (4)	13 (13)	2	1	1		12 (12)	5 (5)	6	4	2 (1)	57 (38)		
		女		8 (8)	1		1		14 (14)	25 (25)	2				51 (47)	

()内は司書有資格者数で内数

条例・管理規則

埼玉県立図書館設置条例

昭和二十六年三月三十一日
条例第十九号

改正 昭和四〇年一〇月一日条例第四五号
昭和四五年 三月三〇日条例第三四号
昭和五〇年 六月 九日条例第五七号
昭和五四年一二月二五日条例第五〇号
昭和五五年 三月二九日条例第三二号
平成一三年 七月一七日条例第五四号
平成一四年一二月二四日条例第九三号
平成二二年 三月三〇日条例第五号

埼玉県立図書館設置条例を、ここに公布する。

埼玉県立図書館設置条例

第一条 図書館法（昭和二十五年法律第百十八号）第十条の規定に基づき、図書館を設置する。

一部改正〔昭和四〇年条例四五号・四五年三四号〕

第二条 図書館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
埼玉県立浦和図書館	さいたま市浦和区高砂三丁目一番二十二号
埼玉県立熊谷図書館	熊谷市箱田五丁目六番一号
埼玉県立久喜図書館	久喜市下早見八十五番地の五

追加〔昭和四五年条例三四号〕、一部改正〔昭和五〇年条例五七号・五四年五〇号・五五年三二号・平成一三年五四号・一四年九三号・平成二二年五号〕

第三条 この条例に定めるものの外、この条例の施行に関し必要な事項は、埼玉県教育委員会規則で定める。

一部改正〔昭和四五年条例三四号〕

附則

この条例は、公布の日から施行し昭和二十五年七月三十日から適用する。

附則（昭和四十年十月十一日条例第四十五号）

この条例は、公布の日から施行する。

附則（昭和四十五年三月三十日条例第三十四号）

この条例は、昭和四十五年四月一日から施行する。

附則（昭和五十年六月九日条例第五十七号）

この条例は、昭和五十年十月一日から施行する。

附則（昭和五十四年十二月二十五日条例第五十号）

この条例は、公布の日から施行する。

附則（昭和五十五年三月二十九日条例第三十二号）

この条例は、昭和五十五年六月一日から施行する。

附則（平成十三年七月十七日条例第五十四号）

この条例は、公布の日から施行する。

附則（平成十四年十二月二十四日条例第九十三号）

この条例は、平成十五年四月一日から施行する。

附則（平成二二年三月三十日条例第五号）

この条例は、公布の日から施行する。

埼玉県立図書館管理規則

平成十五年三月二十八日
教育委員会規則第十九号

改正 平成二〇年三月二日教育委員会規則第六号
平成二〇年三月二八日教育委員会規則十号

埼玉県立図書館管理規則をここに公布する。

埼玉県立図書館管理規則

埼玉県立図書館管理規則（昭和三十五年埼玉県教育委員会規則第五号）の全部を改正する。

（目的）

第一条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第三十三条第一項及び埼玉県立図書館設置条例（昭和二十六年埼玉県条例第十九号）第三条の規定に基づき、埼玉県立浦和図書館（以下「浦和図書館」という。）、埼玉県立熊谷図書館（以下「熊谷図書館」という。）及び埼玉県立久喜図書館（以下「久喜図書館」という。）（以下「図書館」と総称する。）の管理運営に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

（休館日）

第二条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

一 国民の祝日に関する法律（昭和三十二年法律第百七十八号）に規定する休日（以下「休日」という。）の翌日（その日が日曜日、土曜日又は休日である場合を除く。）

二 月曜日（その日が休日である場合を除く。）（その月曜日が県民の日を定める条例（昭和四十六年埼玉県条例第五十八号）に規定する日である場合は、その翌日）

三 一月一日から同月三日まで及び十二月二十九日から同月三十一日まで

四 館内整理日（毎月第四金曜日。ただし、その日が休日である場合は、その前日）

五 特別整理期間（毎年春秋それぞれ七日以内）

2 館長は、特別の事情があるときは、埼玉県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）の承認を得て、前項に規定する休館日を変更し、又は臨時に休館日設けることができる。

（利用時間）

第三条 図書館の利用時間は、六月一日から九月三十日までにあつては午前九時から午後八時まで、十月一日から翌年の五月三十一日までにあつては午前九時から午後七時までとする。ただし、日曜日、土曜日及び休日にあつては午前九時から午後五時までとする。

2 児童図書資料、集団による読書活動に資するために利用できる同一の図書（以下「貸出文庫」という。）、視聴覚資料（個人が利用できるものを除く。）、対面朗読及び視覚障害者資料の利用時間については、前項の規定にかかわらず、午前九時から午後五時までとする。

3 館長は、特別の事情があるときは、前二項に規定する利用時間を変更することができる。

（利用の制限）

第四条 この規則若しくは館長の指示に従わないものに対しては、図書館の利用を禁止することができる。

（損害賠償）

第五条 図書館の入館者及び図書館資料の館外貸出しを受けたものは、自己の責に帰すべき理由により、図書

館の施設若しくは設備を損傷し、又は備品若しくは資料を亡失し、若しくは損傷したときは、これを修理し、又はその損害を賠償しなければならない。

(館内利用)

第六条 館内において図書館資料を利用しようとする者は、所定の閲覧場所で利用しなければならない。

2 書庫内の図書館資料を利用しようとするとき、又は館長が必要と認めたときは、図書館資料利用票に必要な事項を記入して館長に提出するものとする。

(館外利用)

第七条 図書館資料の館外利用をすることのできるものは、特別の理由により館長が許可した場合のほか、次のとおりとする。

一 県内に居住し、若しくは通勤し、又は通学する者(以下「個人」という。)

二 県内の図書館、公民館その他の施設で館長が適当と認めたもの(第十条において「図書館等」という。)

三 県内の読書会、社会教育関係団体その他の団体で館長が適当と認めたもの(以下「団体」という。)

第八条 図書館資料の館外利用をしようとするものは、図書館外利用申込書を館長に提出し、図書館カードの交付を受けなければならない。

2 館長は、前項の図書館カードの交付を受けようとするものに図書館カードを交付するに当たっては、個人にあっては氏名及び住所、団体にあっては名称及び所在地を確認することのできる書類(以下「確認書類」という。)の提示を求めることができる。

3 図書館カードの有効期限は、発行の日から三年とする。

4 図書館カードの交付を受けたものは、図書館カードを亡失したとき、又は図書館外利用申込書の記載事項に変更を生じたときは、速やかに館長に届け出なければならない。

5 館長は、必要に応じて、図書館カードの交付を受けたものに対し、確認書類の提示を求めることができる。

6 次の各号のいずれかに該当する場合には、図書館カードは、無効とする。

一 図書館カードの交付を受けたものが、第七条各号のいずれにも該当しなくなったとき。

二 図書館カードを紛失した旨の届出があったとき。

三 第三項の図書館カードの有効期限が経過したとき。

7 図書館カードは、他人に譲渡し、若しくは貸与し、又は不正に使用してはならない。

第九条 図書館カードの交付を受けたものは、図書館資料の貸出しを受けようとするときに、図書館カードを館長に提示するものとする。

第十条 同時に館外利用できる図書館資料は、特別の理由により館長が許可した場合のほか、個人にあっては、図書、雑誌等は十点以内、視聴覚資料は五点以内とし、その利用期間は、十五日以内とする。ただし、移動図書館における図書館資料の館外利用できる期間については、次の巡回日までとする。

2 図書館等が同一の図書館資料を館外利用できる期間は、三十日以内とする。ただし、特別の理由により館長が許可した場合は、これを延長することができる。

3 団体が同時に館外利用できる図書は、五百冊以内とし、その利用期間は、三十日以内とする。

4 同時に館外利用できる貸出文庫は、六セット以内とし、その利用期間は、六十日以内とする。

5 団体が同時に館外利用できる視聴覚資料(映写機等の機材を含む。次項において同じ。)は、五点以内とし、その利用期間は、五日以内とする。

6 貸出文庫及び団体が館外利用できる視聴覚資料の利用並びに図書館等への協力貸出し(以下「協力貸出し」という。)については、この規則に定めるもののほか、館長が別に定める。

7 貴重図書、辞書その他館長が館外利用を不適当と認めたものについては、館外利用を禁止することができる。

(移動図書館等)

第十一条 移動図書館の運営及び配本所の設置については、この規則に定めるもののほか、館長が別に定める。

(視覚障害者サービス)

第十二条 視覚障害者に対する対面朗読、点字資料及び録音資料の貸出し等の利用については、この規則に定めるもののほか、館長が別に定める。

(図書館の所掌事務)

第十三条 浦和図書館においては、次の事務を所掌する。

一 図書館資料の収集及び整理並びにこれらの事務の調整に関すること。

二 社会科学及び産業の分野に係る図書館資料の利用及び保存並びに参考調査に関すること。

三 地域資料及び行政資料の利用及び保存並びに参考調査に関すること。

四 図書館運営に係る重要施策の企画及び立案に関すること。

五 図書館サービスに係る事務の総合調整に関すること。

六 図書館のコンピュータシステムの管理に関すること。

七 図書館協議会に関すること。

八 図書館関係団体等との協力に関すること。

第十四条 熊谷図書館においては、次の事務を所掌する。

一 移動図書館用資料の収集、整理及び保存に関すること。

二 視聴覚資料の収集及び整理に関すること。

三 海外資料の利用及び保存並びに参考調査に関すること。

四 哲学、歴史及び地理の分野に係る図書館資料の利用及び保存並びに参考調査に関すること。

五 市町村立図書館との協力業務に係る企画及び立案に関すること。

六 移動図書館の運営、貸出文庫の利用及び配本所の設置に関すること。

七 協力貸出しに伴う図書館資料搬送車(以下「協力車」という。)の運行に関すること。

八 海外資料サービス及び視聴覚サービスに係る企画及び立案に関すること。

第十五条 久喜図書館においては、次の事務を所掌する。

一 自然科学、技術、芸術、言語及び文学の分野に係る図書館資料の利用及び保存並びに参考調査に関すること。

二 点字資料及び録音資料の作成、利用及び保存に関すること。

三 新聞及び雑誌の収集、整理、利用及び保存に係る事務の調整に関すること。

四 電子メールによる参考調査に係る事務の調整に関すること。

五 児童サービス及び視覚障害者サービスに係る企画及び立案に関すること。

六 視覚障害者サービスに係る市町村立図書館への支援に関すること。

(共通所掌事務)

第十六条 図書館においては、第十三条から第十五条までに定めるもののほか、それぞれ次の事務を所掌する。

一 児童図書資料、新聞、雑誌及び視聴覚資料の利用並

- びに保存に関すること。
 - 二 協力車の巡回による協力貸出し及び県内の図書館への運営に係る助言に関すること。
 - 三 県外の図書館との相互貸借に関すること。
 - 四 映画会の企画及び実施に関すること。
 - 五 対面朗読の実施に関すること。
 - 六 図書館資料の複写に関すること。
 - 七 広報に関すること。
 - 八 調査及び統計に関すること。
 - 九 庶務に関すること。
 - 十 前各号に掲げるもののほか、所掌事務に関連した事務の処理に関すること。
- (職及び組織)

第十七条 図書館に次の表の上欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の下欄に掲げるとおりとする。ただし、担当部長及び担当課長の職は、必要に応じて置くものとする。

職	職務
館長	上司の命を受け、図書館の所掌する事務を掌理し、その事務を処理するため、所属の職員を指揮監督する。
副館長	上司の命を受け、特に指定された事項を掌理するとともに、当該指定事項について、館長を助け、これらの事務を処理するため、職員を指揮監督する。
教育主幹	上司の命を受け図書館法（昭和二十五年法律第百十八号。以下「法」という。）第四条第二項に規定する事務以外の事務で、特に困難なものに従事し、その事務を処理するため、職員を指揮監督する。
担当部長	上司の命を受け、特に指定された事項を掌理し、その事務を処理するため、職員を指揮監督する。
担当課長	上司の命を受け、担任する事務を掌理し、その事務を処理するため、職員を指揮監督する。

2 前項に定めるもののほか、図書館に次の表の上欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。ただし、主席司書主幹、司書主幹及び主任司書の職は、必要に応じて置くものとする。

職	職務
主席司書主幹	上司の命を受け、法第四条第二項に規定する事務で極めて高度の知識、経験等を必要とする特に困難なものに従事し、その事務を処理するため、職員を指揮監督する。
司書主幹	上司の命を受け、法第四条第二項に規定する事務で高度の知識、経験等を必要とする特に困難なものに従事し、その事務を処理するため、職員を指揮監督する。
主任司書	上司の命を受け、法第四条第二項に規定する事務で相当高度の知識、経験等を必要とする困難なものに従事する。
司書	上司の命を受け、法第四条第二項に規定する事務に従事する。

3 前二項に定めるもののほか、必要に応じて、図書館

に次の表の上欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。

職	職務
主任	上司の命を受け、事務又は技術で相当困難なものに従事する。
主事	上司の命を受け、事務に従事する。
技師	上司の命を受け、技術に従事する。

4 前三項に定めるもののほか、必要に応じて、図書館に次の表の上欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の下欄に掲げるとおりとする。

職	職務
専門員	上司の命を受け、事務又は技術で知識、経験等を必要とするものに従事する。

(職の任命)

第十八条 前条に定める職は、事務職員又は技術職員のうちから埼玉県教育委員会が命ずる。ただし、主席司書主幹、司書主幹、主任司書及び司書にあつては、法第五条に規定する資格を有する者のうちから命ずる。

(寄贈及び寄託)

第十九条 図書館は、図書館資料の寄贈及び寄託を受けることができる。

- 2 図書館資料を寄贈又は寄託した者に対しては、受領書又は寄託証書を交付するものとする。
- 3 寄託資料は、図書館所蔵の資料と同様の取扱いをするものとする。ただし、その館外利用については、寄託者の承認を得なければならない。
- 4 図書館は、不可抗力による寄託資料の損害に対して、その責を負わないものとする。

(事業報告)

第二十条 館長は、図書館の事業について、毎月十日までに前月における概要を、年度終了後一月以内に前年度における概要を、それぞれ教育長に報告しなければならない。

(補則)

第二十一条 この規則の施行に関し必要な事項は、あらかじめ、教育長の承認を得て、館長が定める。

附則

(施行期日等)

- 1 この規則は、平成十五年四月一日から施行する。
- (経過措置)
- 2 この規則の施行の日から平成十五年十月三十一日までの間における第三条第一項（視聴覚資料（個人が利用できるものに限る。）の利用時間に係る部分に限る。）の規定の適用については、同項中「午後八時」又は「午後七時」とあるのは、それぞれ「午後五時」とする。
 - 3 この規則の施行前に改正前の埼玉県立図書館管理規則の規定によりした許可その他の行為は、この規則の相当規定によりした許可その他の行為とみなす。
 - 4 この規則の施行の際、この規則による改正前の埼玉県立図書館管理規則の規定により、浦和図書館、熊谷図書館及び久喜図書館に設置されている次の表の上欄に掲げる職を命ぜられている者は、別に辞令を発せられない限り、同表の上欄に対応する下欄に掲げる職を命ぜられたものとする。

主査	担当課長
----	------

附則（平成二〇年三月二日教育委員会規則第六号）

この規則は、平成二〇年四月一日から施行する。

附則（平成二〇年三月二日教育委員会規則第十号）

この規則は、平成二〇年四月一日から施行する。

埼玉県立図書館協議会条例

昭和二十七年四月十五日
条例第三十六号

改正 昭和二八年 四月 一日 条例第二五号
昭和三四年 六月 一九日 条例第二九号
昭和四五年 三月 三〇日 条例第三五号
昭和五〇年 六月 九日 条例第五八号
昭和五五年 三月 二九日 条例第三三号
平成一四年一二月二四日 条例第九三号

埼玉県立図書館協議会条例を、ここに公布する。

埼玉県立図書館協議会条例

第一条 図書館法（昭和二十五年法律第百十八号）第十四条第一項の規定に基づき、埼玉県立図書館協議会（以下「協議会」という。）を埼玉県立浦和図書館に置く。

全部改正〔平成一四年条例九三号〕

第二条 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、十五人以内とする。

一部改正〔昭和四五年条例三五号・平成一四年九三号〕

第三条 委員の任期は、二年とする。但し、埼玉県教育委員会（以下「委員会」という。）は、委員に特別の事情があると認めるときは、任期中であつてもこれを解任することができる。

2 委員に欠員を生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第四条 この条例に定めるものの外、協議会の運営に関して必要な事項は、委員会が定める。

一部改正〔昭和二八年条例二五号・三四年二九号〕

附則

この条例は、公布の日から施行する。

附則（昭和二十八年四月一日 条例第二十五号）

この条例は、昭和二十八年四月一日から施行する。

附則（昭和三十四年六月十九日 条例第二十九号）

この条例は、公布の日から施行し、昭和三十四年四月三十日から適用する。

附則（昭和四十五年三月三十日 条例第三十五号）

この条例は、昭和四十五年四月一日から施行する。

附則（昭和五十年六月九日 条例第五十八号）

この条例は、昭和五十年十月一日から施行する。

附則（昭和五十五年三月二十九日 条例第三十三号）

この条例は、昭和五十五年六月一日から施行する。

附則（平成十四年十二月二十四日 条例第九十三号）

この条例は、平成十五年四月一日から施行する。

埼玉県立図書館協議会運営規則

昭和二十八年一月二十七日
教育委員会規則第一号

改正 昭和四五年 三月三〇日 教育委員会規則第七号
昭和五〇年 九月三〇日 教育委員会規則第二三号
昭和五五年 五月三〇日 教育委員会規則第一七号
昭和六〇年 三月二六日 教育委員会規則第一号
平成一五年 三月二八日 教育委員会規則第二〇号

埼玉県条例第三十六号に基く埼玉県立図書館協議会運営規則を次のように定める。

埼玉県立図書館協議会運営規則

第一条 埼玉県立図書館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、協議会の委員（以下「委員」という。）の互選とし、その任期は一年とする。

3 会長は、協議会の会議（以下「会議」という。）を主宰する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

第二条 会議は、図書館長がこれを招集する。

2 会議開催の日時及び場所は、会議に付議すべき事件と共に、図書館長が、あらかじめ委員にこれを通知しなければならない。

第三条 会議は、定例会及び臨時会とする。

2 定例会は、年三回とし、臨時会は、必要がある場合にこれを開催する。

第四条 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開き議決をすることができない。

2 議事は、出席した委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

第五条 会議は、公開とする。ただし、出席した委員の三分の二以上の多数で議決したときは、非公開とすることができる。

第六条 会長は、次に掲げる事項を記載した会議録を作成するものとする。

一 会議の日時及び場所

二 出席及び欠席した委員の氏名

三 議決事項

四 表決における賛否の数

五 議事の経過

六 その他必要な事項

2 会議録には、会長及び出席した委員のうちから会長が指名した二人の委員が署名するものとする。

第七条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し、必要な事項は、会議においてこれを定める。

附則

この規則は、公布の日から施行する。

附則（昭和四十五年三月三十日 教育委員会規則第七号）

この規則は、昭和四十五年四月一日から施行する。

附則（昭和五十年九月三十日 教育委員会規則第二十三号）

この規則は、昭和五十年十月一日から施行する。

附則（昭和五十五年五月三十日 教育委員会規則第十七号）

この規則は、昭和五十五年六月一日から施行する。

附則（昭和六十年三月二十六日 教育委員会規則第一号）

この規則は、昭和六十年四月一日から施行する。

附則（平成十五年三月二十八日 教育委員会規則第二十号）

この規則は、平成十五年四月一日から施行する。

埼玉県立図書館のあゆみ

- 大 11. 10 県教育会立埼玉図書館を北足立郡工区員出張所跡に開設、埼玉図書館館則を公布
13. 3 埼玉県立埼玉図書館設置の件文部省から認可、館則を公布
- 4 閲覧規定・庶務規定・庶務細則設定（司書・会計・庶務の3部制、職員数7人）
本館 512.72 m²、付属建物 16.52 m²、蔵書数 5,765 冊
14. 5 旧女子師範学校を模様替えし移転（本館 1,409.1 m²、付属建物 100.65 m²）
- 昭 8. 10 改正図書館令公布により埼玉県中央図書館に指定
25. 9 移動図書館開設（巡回車を「むさしの」号と命名）
26. 3 埼玉県立図書館設置条例公布、「埼玉県立図書館」と名称変更
27. 4 埼玉県立図書館協議会条例公布
- 5 埼玉県立図書館規則、同庶務細則公布（管理・奉仕の2課6係制、職員数32人、建物 1,611.83 m²、蔵書数 73,471 冊）、視聴覚資料室設置
28. 3 埼玉県立図書館協議会委員任命、第1回協議会開催
35. 3 新館建築落成（鉄筋コンクリート造地上3階地下1階、延 3,185 m²、付属建物 96.53 m²）、
埼玉県立図書館管理規則公布（管理・館内奉仕・館外奉仕の3課8係制、職員数44人、
蔵書数 132,373 冊）
36. 1 図書館法施行並びに移動図書館発足10周年記念式典挙行
40. 4 埼玉県教育史編さん事業開始（50年3月、全5巻及び資料集7冊の刊行完了）
44. 3 文書館竣工（増設）、地上3階地下1階、延 1,106 m²、6月に閲覧業務開始
- 4 県立図書館内に開設準備室発足（職員7人）
- 9 開設準備室を熊谷市立図書館分館に移転
45. 3 複数県立図書館制発足に伴い、埼玉県立図書館設置条例並びに管理規則改正公布（管理・館内奉仕・
館外奉仕・文書の4課10係制、職員数56人、建物総面積 4,291 m²、蔵書数 205,306 冊）
「埼玉県立浦和図書館」と改称 開設準備室を新館に移転
埼玉県立図書館設置条例及び管理規則改正により埼玉県立熊谷図書館設置を公布
- 4 埼玉県立熊谷図書館設置・職員25人
- 7 熊谷図書館開館式典挙行、奉仕業務開始（貸出閲覧室・母親子ども読書室・貸出文庫・視聴覚）
46. 3 熊谷図書館の積層書庫（4・5層）及び車庫完成（移動図書館車2台・配本車1台）
- 4 熊谷図書館に職員15人増員
熊谷図書館で移動図書館巡回開始（「さきたま」号と命名）
- 5 熊谷図書館で調査相談室業務開始
- 7 熊谷図書館にサンケイ文庫設置（母親子ども読書室内）
47. 1 浦和図書館で一日図書館「むさしの」号開設
- 4 浦和図書館本館増築 252 m²、埼玉県戦後教育史編さん事業開始
熊谷図書館に特許公報類閲覧所設置（調査相談室内）
- 9 熊谷図書館の積層書庫完成
- 10 浦和図書館本館創立50周年記念式典挙行
- 11 埼玉県立図書館管理規則の一部改正により、浦和図書館が4部10課制に
48. 11 埼玉県立図書館管理規則の一部改正により、熊谷図書館が3部7課制に
49. 4 川越市役所内に開設準備室発足（職員7人）
- 6 開設準備室を川越市民会館に移転
50. 4 開設準備室を開設準備事務所に改める（職員20人）
浦和図書館文書部が埼玉県立文書館として分離独立、浦和図書館は3部8課制に
熊谷図書館の職員定数1人減員で39人
- 5 やまびこ図書館設置（寄居町風布外）
- 7 新図書館開設準備事務所を川越市民会館から新館に移転
視覚障害者サービスの朗読者養成講習会開始
- 8 障害者に対する図書館利用の説明会開催

- 10 埼玉県立図書館設置条例、同管理規則が改正・施行され、埼玉県立川越図書館発足（組織3部8課制、館長以下職員24人）、開館式典及び記念事業を挙
- 11 奉仕業務開始（貸出閲覧室、母親子ども読書室及び朗読室の奉仕活動を開始）
- 51. 1 川越図書館積層書庫（1・2層）工事完成
 - 4 協力車運行開始
川越図書館で視聴覚奉仕事業を開始
 - 7 川越図書館で調査相談室奉仕事業を開始
 - 10 川越図書館で移動図書館等奉仕事業を開始（入間地域を対象（浦和図書館から移管、移動図書館車の保管転換を受け「はつかり」号と命名）
- 52. 3 熊谷図書館で移動図書館車（新車）用度課より保管転換
 - 4 川越図書館の職員定数館長以下38人
川越図書館で比企地域に対し移動図書館等奉仕事業を開始（熊谷図書館から移管）
熊谷図書館の職員1人減員で38人
- 53. 4 埼玉県立第四図書館（仮称）準備委員長ほか2人発令（社会教育課内）
 - 6 埼玉県教育委員会教育長と久喜市長との間で「図書館建設の覚書」交換
 - 10 埼玉県立第四図書館開設準備室の設置（久喜高等学校内）職員4人増員で7人
- 54. 4 埼玉県立久喜図書館準備事務所の設置（久喜高等学校内）、庶務課、奉仕計画課、資料課の3課制、職員11人増員で18人
 - 7 久喜図書館で視覚障害者サービスの朗読奉仕ボランティア養成講座開始
 - 10 久喜図書館に職員6人増員で24人
図書館建物完成引き渡し、久喜高等学校から準備事務所を移転
 - 12 久喜図書館に職員1人増員で25人
埼玉県立図書館復刻叢書（第1巻「三峯紀行艸」）刊行開始
- 55. 4 久喜図書館に職員7人増員で32人
 - 5 図書館法施行30周年記念式典挙、埼玉県立図書館設置条例・埼玉県立図書館協議会条例及び埼玉県立図書館管理規則施行、埼玉県立久喜図書館3部7課制で発足
 - 6 久喜図書館開館式典挙、業務開始（子ども室、一般公開図書室及び朗読室の奉仕業務を開始）、文化事業「児童奉仕ボランティア養成講座」開始
 - 9 移動図書館発足30周年記念式典挙
 - 10 久喜図書館の職員1人増員で33人
- 56. 3 久喜図書館で移動図書館車新規購入 浦和図書館からの保管転換と合わせ保有台数2台
浦和図書館は奉仕対象を転換し、協力車へ
 - 4 久喜図書館で移動奉仕課を設置し、3部8課制に、職員定数5人増員で38人
移動図書館車巡回開始（前日に発足式、巡回車を「みずほ」号と命名）
 - 10 第67回全国図書館大会開催（開催地：浦和市 10月29日～10月31日）
- 57. 3 久喜図書館野外読書広場工事完成
- 58. 4 文書館新築移転、熊谷図書館の職員1人減員で37人、川越図書館の職員1人減員で37人
久喜図書館の職員1人減員で37人
 - 7 文書館跡使用開始・埼玉資料室設置
- 59. 4 久喜図書館の職員1人増員で38人
- 61. 3 川越図書館の収蔵庫増築完成
 - 4 久喜図書館で彫塑「遙か」（斎藤馨氏作）寄贈受入れ
- 62. 3 「埼玉県立図書館合同蔵書目録（第1期）」刊行（書名編、著者名編、分類編3編10分冊）
移動図書館廃止（一日図書館「むさしの」号廃止）
- 平 1. 4 川越図書館の職員1人減員で36人
 - 2. 2 埼玉県社会教育委員会議から「生涯学習社会における埼玉県立図書館の今後のあり方について」建議
 - 3 久喜図書館の収蔵庫増築工事完成
 - 4 川越図書館の職員1人増員で37人
 - 3. 3 「埼玉県立図書館合同蔵書目録（第2期）」刊行（書名編、著者名編、分類編3編5分冊）
 - 10 熊谷図書館に点字ブロックを設置

- 4. 3 埼玉県立図書館協議会が「本県における図書館活動振興方策－図書館未設置町村の解消について」答申
- 5. 4 川越図書館の職員1人減員で36人
- 6. 4 川越図書館から熊谷図書館へ移動図書館業務を移管
- 7. 3 埼玉県立図書館合同蔵書目録CD-ROM版「彩-BISC」刊行
 - 9 埼玉県立図書館協議会から「将来展望にたつて県立図書館はどうあればよいかについて」答申
- 9. 4 収書・整理業務を浦和図書館へ集中一元化、久喜図書館の移動図書館業務を熊谷図書館へ移管
浦和図書館は職員9人増員で46人、熊谷図書館は3人減員で34人、川越図書館は2人減員で34人、久喜図書館は5人減員で33人
 - 7 書誌データ入力システム稼働
- 10. 7 文部省の委嘱事業として、久喜図書館で養護学校等との連携による図書館活動実施（～11.3）
- 11. 3 熊谷図書館の特許公報類閲覧所指定解除
 - 4 管理規則の一部改正により祝日等の開館及び開館時間の延長
 - 12 蔵書管理コンピュータ化事業に着手
- 12. 4 資料搬送業務の外部委託実施に伴い、組織運営体制を見直し
浦和図書館は1人減員で45人、久喜図書館は1人減員で32人
- 13. 4 熊谷図書館は1人減員で33人、川越図書館は1人減員で33人
- 14. 10 「県立社会教育施設再編整備計画」策定（埼玉県教育委員会）
- 15. 3 県立図書館コンピュータシステム稼働
 - 4 川越図書館廃止（県立図書館3館体制）
県立図書館再編に伴う管理規則の全部改正により、組織改正・グループ制へ移行（浦和図書館は川越分室の職員を含み58人、熊谷図書館は4人増員で37人、久喜図書館は7人増員で39人）
 - 9 資料移動作業のため休館（9.8～10.20）
 - 10 リニューアル・オープン（分野別専門館、CD・ビデオの利用時間延長、貸出手続確認装置の導入）
 - 11 インターネット予約を開始
- 16. 3 国立国会図書館レファレンス協同データベース実験事業に参加
- 16. 4 熊谷図書館は1人減員で36人、久喜図書館は1人減員で38人
- 17. 3 埼玉県立図書館協議会から「埼玉県立図書館の振興方策について」建議
県立図書館と埼玉大学図書館との間で相互協力協定を締結
 - 4 浦和図書館は2人減員で45人、熊谷図書館は1人減員で35人、久喜図書館は1人減員で37人
浦和図書館で行政支援サービスを開始
久喜図書館に子ども読書支援センターを開設
 - 12 国立国会図書館レファレンス協同データベース事業で埼玉県のレファレンス事例を一般公開
- 18. 3 埼玉県内公立図書館等横断検索システムが稼働
県立図書館と県立大学情報センターとの間で相互協力協定を締結、移動図書館業務を廃止
 - 4 熊谷図書館は2人減員で33人、久喜図書館は1人減員で36人
 - 10 「文字・活字文化の日」記念事業開催
- 19. 4 浦和図書館は3人減員で42人、熊谷図書館は1人増員で34人、久喜図書館は1人減員で35人
協力車の運行を熊谷図書館に一元化
 - 10 「図書館と県民のつどい埼玉2007」開催
- 20. 2 熊谷図書館駐車場用地として、管財課から所管換えにより1,150㎡を取得
 - 3 県立図書館コンピュータシステム更新
 - 4 浦和図書館は1人減員で41人、熊谷図書館は1人減員で33人、久喜図書館は1人減員で34人
 - 10 埼玉県立図書館協議会から「市町村図書館等との連携協力に係わる提言」
 - 11 「図書館と県民のつどい埼玉2008」開催
- 21. 1 管理規則の改正により1月4日開館
 - 3 レファレンス事例提供数全国一位で国立国会図書館から礼状
 - 10 第21回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア埼玉2009」の生涯学習見本市に参加
 - 11 「図書館と県民のつどい埼玉2009」開催

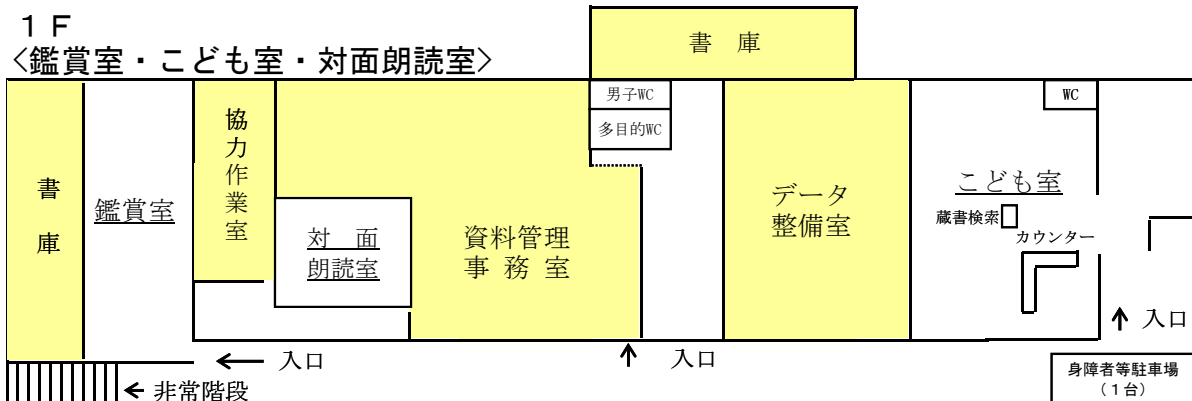
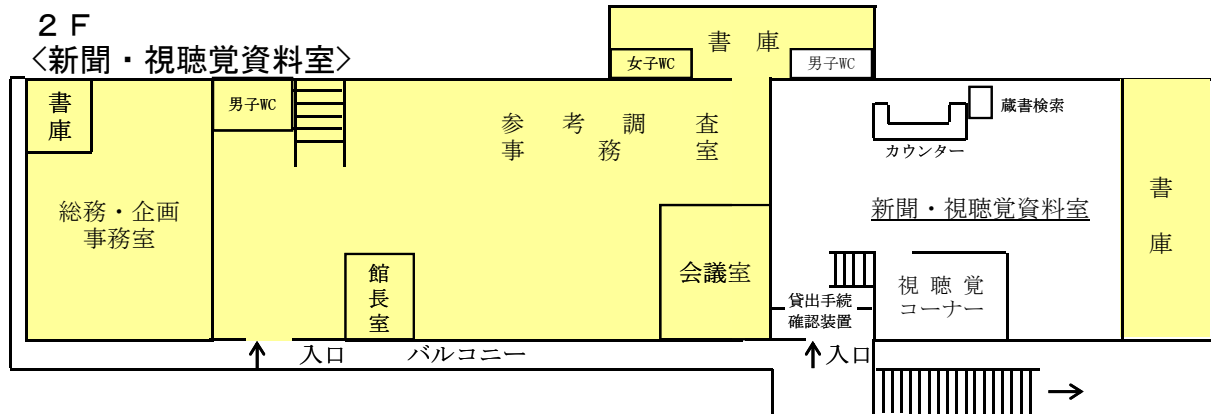
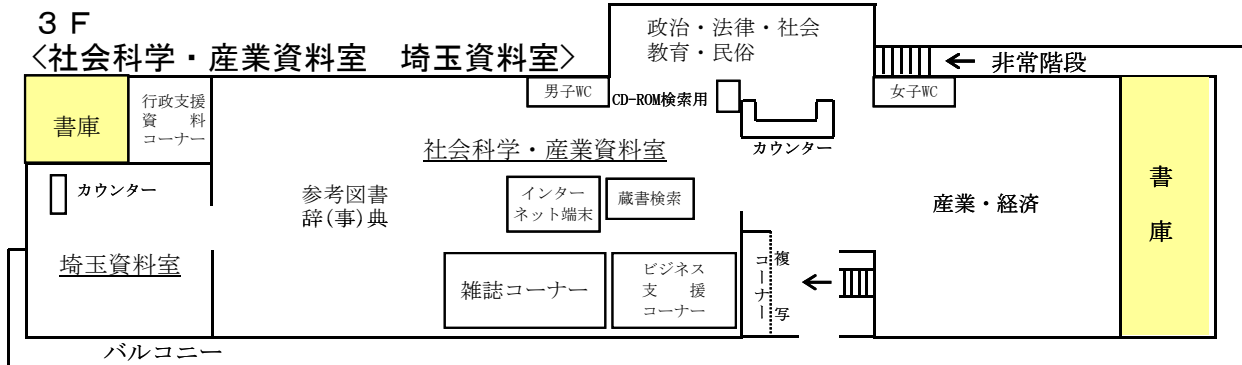
浦和図書館の施設概要

◎建物規模 鉄筋コンクリート造 地上3階・地下1階 延4,543㎡ 附属建物215㎡

階	施設
中4階	書庫
3階	社会科学・産業資料室[貸出・閲覧・調査相談・利用者用インターネット(6台)] (91席のうちパソコン優先席8席) 蔵書検索端末(6台) ビジネス支援サービス用端末(5台) 埼玉資料室(12席) 複写コーナー 書庫
中3階	行政支援資料コーナー 書庫
2階	館長室 総務・企画・システム管理事務室 参考調査事務室 会議室 書庫 新聞・視聴覚資料室(16席) 蔵書検索端末(1台) 視聴ブース(4台) 拡大読書器(1台) マイクロリーダー(2台)
中2階	書庫 印刷室 児童集会室 会議室
1階	資料管理事務室 対面朗読室 協力作業室 鑑賞室(50席) 書庫 こども室(28席) 蔵書検索端末(1台) データ整備室
地下	書庫 変電室 ボイラー室 冷凍機室 機械室

館内配置図

(平成22年4月1日現在)



熊谷図書館の施設概要

◎建物規模 鉄筋コンクリート造 地上3階 延3,056㎡

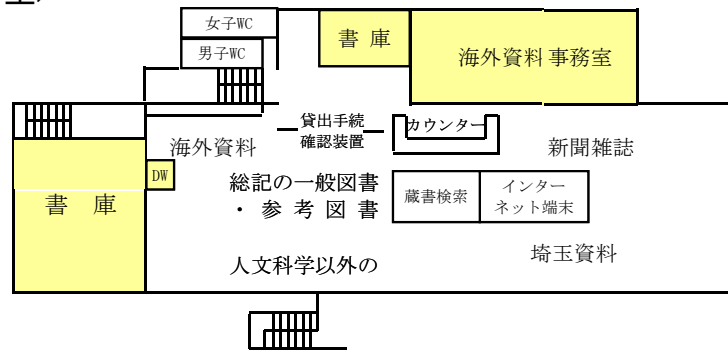
階	施設
3階	海外資料事務室 参考図書・海外資料室[貸出・閲覧・調査相談・利用者用インターネット(2台)] (30席) 複写コーナー 蔵書検索端末(1台) マイクロリーダー(1台) 書庫
2階	館長室 総務事務室 参考調査事務室 視聴覚室(6台) 人文科学資料室[貸出・閲覧・調査相談・利用者用インターネット(2台)] (16席) 複写コーナー 蔵書検索端末(4台) 拡大読書器(1台) 書庫
1階	図書館協力、図書館振興・児童事務室 対面朗読室 鑑賞室(50席) 集会室(60席) 子ども読書室(12席) 蔵書検索端末(1台) 機械室 書庫

館内配置図

(平成22年4月1日現在)

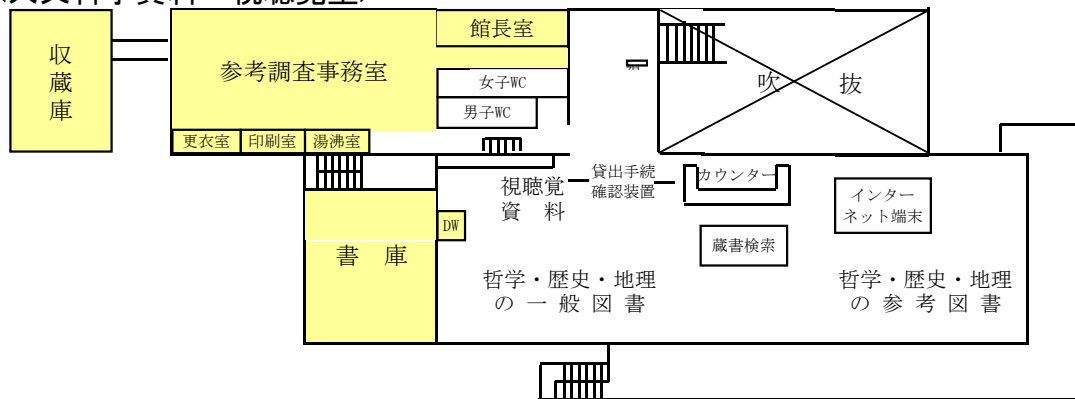
3F

〈参考図書・海外資料室〉



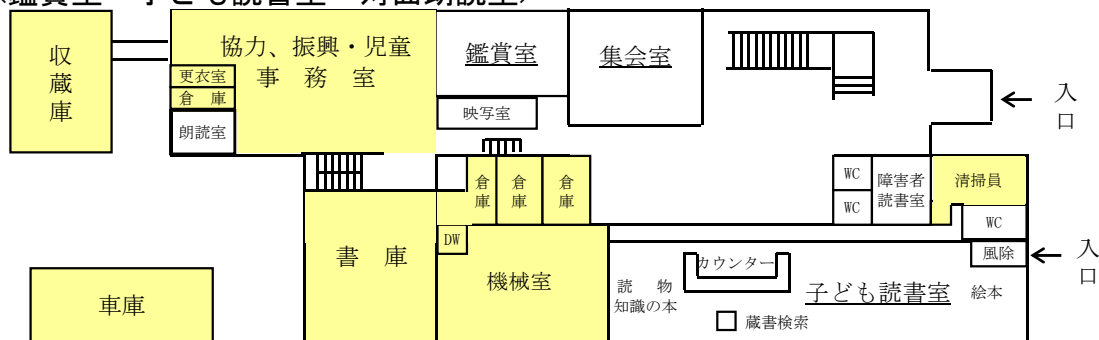
2F

〈人文科学資料・視聴覚室〉



1F

〈鑑賞室・子ども読書室・対面朗読室〉



久喜図書館の施設概要

◎建物規模 鉄筋コンクリート造 地上3階 延4,059㎡

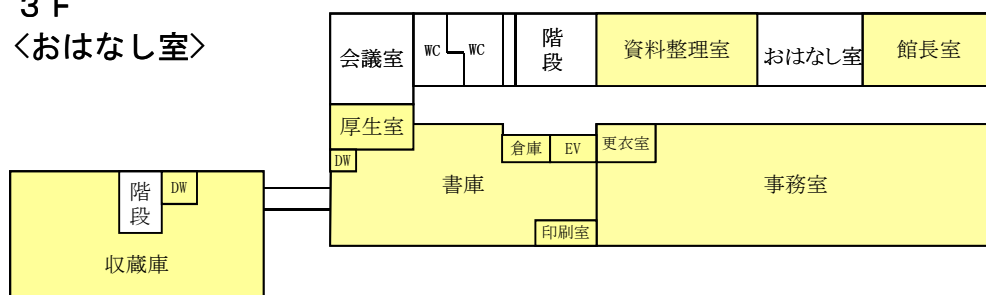
階	施設
3 階	館長室 総務、参考調査、情報・地域協力、新聞・雑誌事務室 おはなし室 会議室 厚生室 書庫
2 階	公開図書室[貸出・閲覧・調査相談・利用者用インターネット(4台)] (64席) 蔵書検索端末(6台) 拡大読書器(2台) マイクロリーダー(1台) 研修室(24席) 書庫
1 階	障害者サービス・子ども読書推進事務室 点字・音声情報スペース[蔵書検索用パソコン(1台)・利用者用インターネット(1台)・活字自動読み上げ機(1台)] (2席) 対面朗読室(2室) 視聴覚ホール(140席) 子ども図書室[蔵書検索用パソコン(1台)蔵書検索端末(1台)](10席) 機械室 書庫

館内配置図

(平成22年4月1日現在)

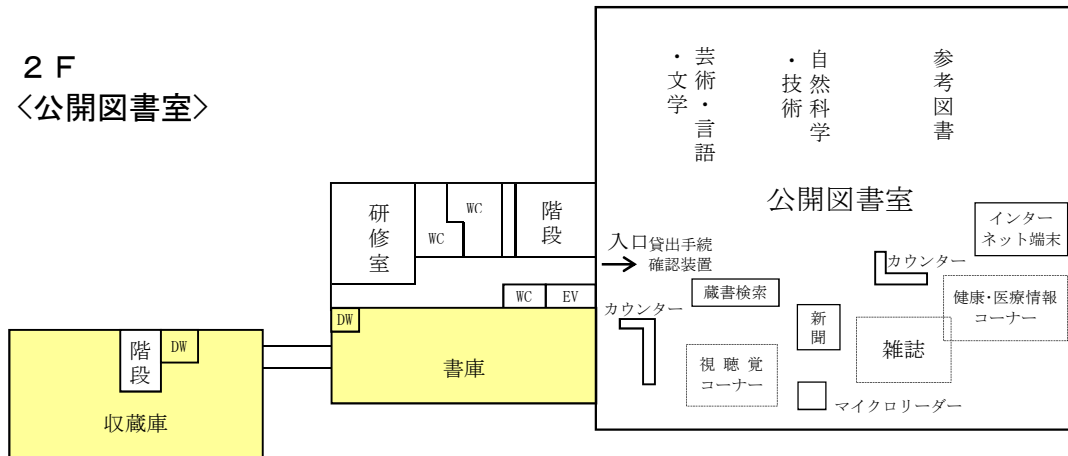
3 F

<おはなし室>



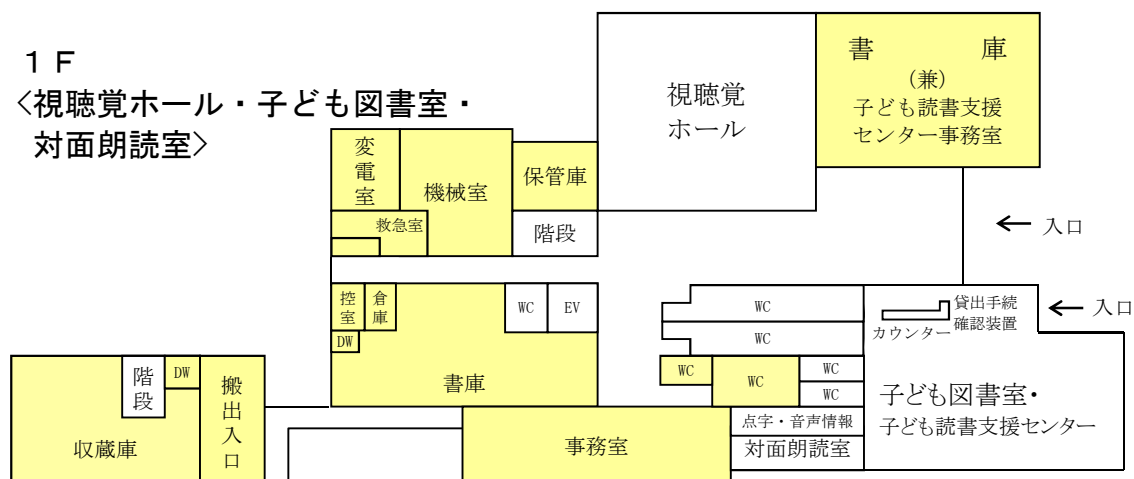
2 F

<公開図書室>



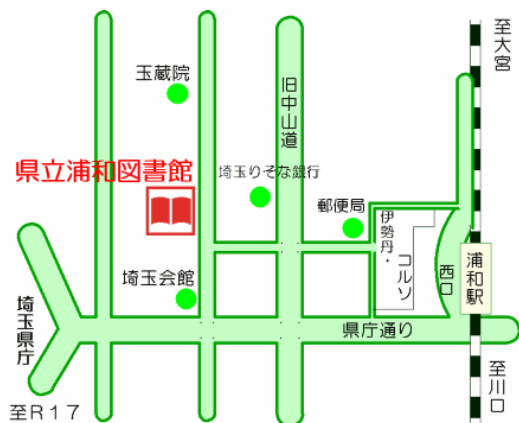
1 F

<視聴覚ホール・子ども図書室・対面朗読室>



埼玉県立図書館へのアクセス

社会科学と産業の 浦和図書館



〒330-0063

さいたま市浦和区高砂 3-1-22

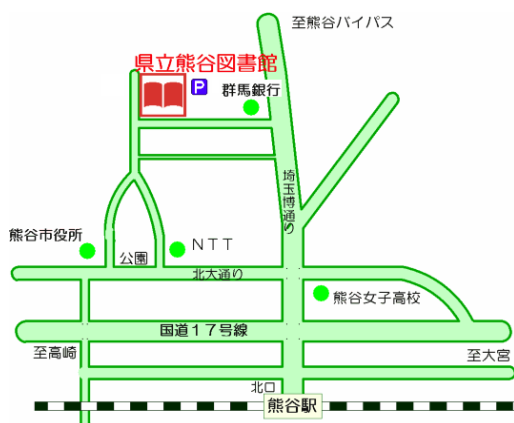
TEL : 048-829-2821

FAX : 048-829-2979

※ JR 浦和駅西口から徒歩 7 分

※ 駐車場 : 身障者等専用1台のみ
公共交通機関をご利用ください

歴史と哲学の 熊谷図書館



〒360-0014

熊谷市箱田 5-6-1

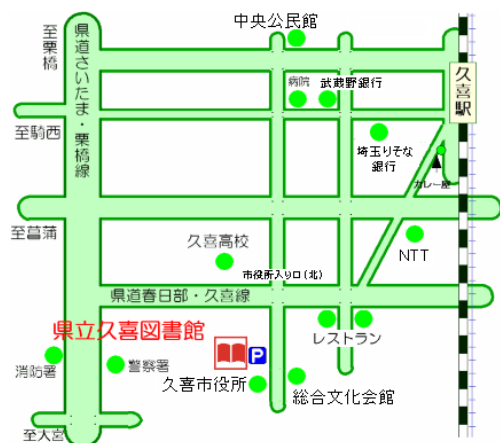
TEL : 048-523-6291

FAX : 048-523-6468

※ JR 熊谷駅北口から徒歩約20分

※ 駐車場 :
図書館前 18台(うち身障者等専用2台)
図書館東側 38台

科学と芸術の 久喜図書館



〒346-8506

久喜市下早見 85-5

TEL : 0480-21-2659

FAX : 0480-21-2791

※ JR 久喜駅西口から徒歩約20分

※ 駐車場 : 30台(うち身障者等専用2台)



埼玉県のマスコット

コバトン

利用時間と休館日

区 分	利 用 時 間	休 館 日
一 般 図 書 埼 玉 資 料 新 聞 ・ 雑 誌 CD ・ ビ デ オ	火曜～金曜日 6月～9月 9:00～20:00 10月～5月 9:00～19:00 土・日・祝日 9:00～17:00 (浦和図書館は 9:00～19:00)	月曜日 (祝日及び県民の日の場合は開館し、 翌日が休館) 第4金曜日 (祝日の場合は開館し、前日が休館)
児 童 資 料 対 面 朗 読 点 字 資 料 (※1) 録 音 資 料 (※1) 16ミフィルム(※2) 貸 出 文 庫 (※2)	火曜～金曜、土・日・祝日 9:00～17:00	年 末 年 始 (12月29日～1月3日) 特別整理期間 (平成22年度) [浦和図書館] (10月5日～10月8日) (2月22日～2月25日) [熊谷図書館] (10月19日～10月22日) (3月1日～3月4日) [久喜図書館] (9月28日～10月1日) (2月15日～2月18日)

※1は久喜図書館、※2は熊谷図書館で利用申込みを受け付けています。

平成22年7月発行

平成22年度 要覧

編集・発行 埼玉県立浦和図書館

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3丁目1番22号

電話 (048)829-2821(代)

FAX (048)829-2979

ウェブサイト <https://www.lib.pref.saitama.jp/>

携帯用ウェブサイト <https://www.lib.pref.saitama.jp/m>



携帯電話用
QRコード